

令和5年度

定期監査結果報告書

富士宮市監査委員



## 目 次

1	監 査 の 種 類 .....	1
2	監 査 の 対 象 .....	1
3	監 査 の 範 囲 .....	1
4	監 査 の 期 間 .....	1
5	監 査 の 実 施 場 所 .....	1
6	監 査 の 実 施 内 容 .....	2
7	監 査 の 方 法 .....	2
8	監 査 の 結 果 .....	2
◇	総 務 部	
◎	行 政 課 .....	3
◎	人 事 課 .....	5
◎	契 約 管 理 課 .....	7
◎	工 事 検 査 課 .....	9
◇	企 画 部	
◎	企 画 戦 略 課 .....	11
◎	富 士 山 世 界 遺 産 課 .....	13
◎	秘 書 課 .....	15
◎	広 報 課 .....	16
◎	デ ジ タ ル 推 進 課 .....	18
◇	財 政 部	
◎	財 政 課 .....	20
◎	収 納 課 .....	23
◎	市 民 税 課 .....	25
◎	資 産 税 課 .....	27
◇	市 民 部	
◎	市 民 生 活 課 .....	29
◎	市 民 交 流 課 .....	32
◎	市 民 課 .....	34
◎	出 張 所 .....	36
◎	保 険 年 金 課 .....	48

◇ 産 業 振 興 部	
◎ 農 業 政 策 課 .....	51
◎ 観 光 課 .....	53
◎ 商 工 振 興 課 .....	55
◇ 環 境 部	
◎ 環 境 企 画 課 .....	57
◎ 生 活 環 境 課 .....	59
◎ 花 と 緑 と 水 の 課 .....	61
◎ 清 掃 セ ン タ ー .....	63
◇ 保 健 福 祉 部	
◎ 福 祉 企 画 課 .....	65
◎ 高 齢 介 護 支 援 課 .....	67
◎ 障 が い 療 育 支 援 課 .....	69
◎ 福 祉 総 合 相 談 課 .....	71
◎ 子 ど も 未 来 課 .....	73
◎ 健 康 増 進 課 .....	76
◇ 都 市 整 備 部	
◎ 管 理 課 .....	78
◎ 道 路 課 .....	80
◎ 河 川 課 .....	82
◎ 都 市 計 画 課 .....	84
◎ 都 市 整 備 課 .....	86
◎ 公 共 建 築 課 .....	88
◎ 建 築 住 宅 課 .....	89
◇ 水 道 部	
◎ 水 道 業 務 課 .....	92
◎ 水 道 工 務 課 .....	92
◎ 下 水 道 課 .....	95
◇ 危 機 管 理 局 .....	98
◇ 市 立 病 院 .....	100
◇ 会 計 管 理 局 .....	103
◇ 消 防 本 部 .....	105

◇ 教 育 部	
◎ 教 育 総 務 課	109
◎ 学 校 教 育 課	111
◎ 社 会 教 育 課	113
◎ 文 化 課	115
◎ ス ポ ー ツ 振 興 課	117
◎ 学 校 給 食 セ ン タ ー	119
◎ 中 央 図 書 館	121
◎ 小 学 校	124
◎ 中 学 校	124
◇ 市 議 会 事 務 局	128
◇ 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	129
◇ 農 業 委 員 会 事 務 局	131



## 1 監査の種類

監査の名称 令和5年度定期監査  
根拠法令 地方自治法第199条第1項及び第4項

## 2 監査の対象

総務部	行政課、人事課、契約管理課、工事検査課
企画部	企画戦略課、富士山世界遺産課、秘書課、広報課、デジタル推進課
財政部	財政課、収納課、市民税課、資産税課
市民部	市民生活課、市民交流課、市民課、出張所、保険年金課
産業振興部	農業政策課、観光課、商工振興課
環境部	環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター
保健福祉部	福祉企画課、高齢介護支援課、障がい療育支援課、福祉総合相談課、子ども未来課、健康増進課
都市整備部	管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、公共建築課、建築住宅課
水道部	水道業務課、水道工務課、下水道課
危機管理局	
市立病院	
会計管理局	
消防本部	消防総務課、予防課、警防救急課、中央消防署、西消防署
教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、中央図書館、小学校、中学校
市議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
農業委員会事務局	

## 3 監査の範囲

令和5年4月1日から監査基準日までの財務に関する事務事業の執行及び経営に関する事業の管理

## 4 監査の期間

令和5年8月16日から令和6年2月6日まで

## 5 監査の実施場所

監査委員室

なお、市立病院、小学校、中学校及び保育園については現地

## 6 監査の実施内容

富士宮市監査基準に基づき、財務に関する事務執行及び経営に関する事業の管理が法令に適合し、正確で、最小の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、また、前回の要望事項等について、改善、整備のための努力がなされたかを主眼とし実施しました。

## 7 監査の方法

関係諸帳簿及び証拠書類等により事前監査を実施するとともに、関係職員に、予算及び事務事業の執行状況を確認しました。

## 8 監査の結果

監査を実施した事務事業は、所期の目的に沿って執行され、その経理手続事務処理はおおむね適正と認められ、公表すべき指摘事項はありません。

なお、留意及び改善すべき軽微な事項については、口頭で指摘したので省略します。

監査の概要は次のとおりです。

(注) 百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入としました。



◇ 総 務 部

◎ 行 政 課

1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	選挙管理委員会事務局長を併任
文書法規係	4	2	6	
行政経営係	3		3	
選 挙 係	3		3	選挙管理委員会事務局 次長を併任1 選挙係主任主査を併任1 選挙係主査を併任1
計	12	2	14	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

職員の定年延長制度を受け正規職員数の増加が見込まれますが、正規職員の年齢構成を平準化するためにも計画的な職員の採用が必要であることから、人事採用部門と連携し、職員数の適正な管理について十分な検討を重ねるよう要望します。

(2) 処理済の事項

職員数については、人事課と情報を共有し適正に管理してまいります。

定年延長制度に伴い正規職員数の増加が見込まれますが、新規採用については、組織の新陳代謝を図るため、採用数を平準化し、計画的な採用を行うよう人事課と調整してまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
200,000	95,600	92,120	3,480	46.1	96.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
20,274,000	9,564,739	10,709,261	47.2

### 4 要望事項等

男女共に育児休業取得の推進のほか、職員のワーク・ライフ・バランスを保つこと、また、心身の健康を損なうことによる長期休暇者の増加などにより、職場環境を良好に整える必要があります。そのような中で、職員と会計年度任用職員の適正な定数管理については、人事課と連絡調整を図り、各課の業務量や働きやすい環境であるかなどを検討し適正な定数となるよう努められたい。

また、定年延長制度が開始されることから、ベテラン職員の経験と知識を有効に活用できるような配置の検討を図られたい。

さらに、会計年度任用職員は貴重な戦力として捉える一方、業務負担に配慮の上、要求内容を的確に精査するよう要望します。

## ◎ 人 事 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	互助会事務局長を併任
人事研修係	6	8	14	育児休業中1
給与厚生係	5	2	7	病気休暇中1
課 付	1		1	富士市へ派遣1
計	13	10	23	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

慢性的に長時間勤務となっている部署については、引き続き意見を聞きながら長時間勤務縮減に向けた取組を行うことを要望するとともに、業務の多忙化により会計年度任用職員が増加していますが、会計年度任用職員においても地方公務員法上に定める各規定が適用されることから、公務員としての自覚を促すような研修を定期的に行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

慢性的に長時間勤務の状態となっている課に対しては、担当係長や所属長に対してヒアリングを行い、事務の効率化に向けた検討やダブルワークの活用を促しています。

長時間勤務については、職員の健康面への影響が懸念されるほか、仕事へのモチベーションや仕事の成果へも影響してくることから、今後も継続して長時間勤務の縮減に向け取り組んでまいります。

また、会計年度任用職員の研修としては、より多くの職員が受講できるよう年4回に分け、地方自治体と民間企業の違い、公務員としてのビジネスマナーの基本と接遇、公務員倫理等、公務員としての自覚を促すような研修を実施しています。

さらに、ハラスメントの知識を習得するとともに、ハラスメントのない働きやすい職場づくりのため、会計年度任用職員にもハラスメント研修を受講させています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
12,361,000	1,809,704	1,725,924	83,780	14.0	95.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,587,523,000	624,317,585	963,205,415	39.3

## 4 職員研修の状況(令和5年10月1日現在)

(単位:講座・人)

研修区分	講座数	延人員	備考
基本研修	13	512	新規採用職員研修、管理者研修ほか
職場研修	1	—	日常の業務を通じて行う研修
派遣研修	50	91	富士市・富士宮市合同研修、 地方自治法研修ほか
専門研修	3	93	保育士リーダー養成講座、 不当要求防止責任者講習ほか
特別研修	1	78	通信教育講座
その他の研修	1	24	メンタルヘルス研修
計	69	798	

## 5 要望事項等

職員採用に関しては、新たな試験方法を加えて一定の効果が得られたことから、今の社会に対応できる幅広い能力や適性を持った人材を先取りの体制で採用できるよう、引き続き努められたい。

また、長時間勤務の状態となっている部署に対しては、その状況を把握するとともに、分析を行って組織全体で改善に努められるよう要望します。

## ◎契約管理課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
契約係	4		4	
施設管理係	2	18	20	
計	7	18	25	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

原油価格及び物価の高騰が入札参加業者へ与える影響を考慮し、入札予定価格及び施工期間の設定に十分配慮し、入札依頼課へ協力依頼を行うとともに、国、県からの情報収集を確実にを行い、円滑な入札契約事務が執行できるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

適正な請負代金の設定及び適正な工期の確保につきましては、入札参加業者の担い手の処遇改善、働き方改革、生産性向上においても公共工事の円滑な施工の確保においても必要なことであることから、国、県からの情報を確実に収集するとともに工事検査課及び工事主管課とその情報を共有することで円滑な入札契約事務の執行に努めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
24,340,000	25,710,029	24,989,710	720,319	102.7	97.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
622,268,000	204,265,353	418,002,647	32.8

## 4 工事請負契約締結件数の状況(令和5年10月1日現在)

(単位:件)

区 分	一般競争 入 札	指名競争 入 札	公募型指名 競争入札	随意契約	計
130万円超	0	0	25	1	26
500万円未満	( 0 )	( 0 )	( 25 )	( 0 )	( 25 )
500万円以上	0	1	10	2	13
1,000万円未満	( 0 )	( 0 )	( 8 )	( 3 )	( 11 )
1,000万円以上	23	5	47	3	78
	( 19 )	( 2 )	( 32 )	( 1 )	( 54 )
計	23	6	82	6	117
	( 19 )	( 2 )	( 65 )	( 4 )	( 90 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 5 要望事項等

入札業務に関しては、原材料費及び人件費、その他の諸経費が高騰しているため、市場価格の情報をしっかり把握し、適正な入札価格の設定をするよう努められたい。また、今後も引き続き入札の透明性、公平性の確保に努めるよう要望します。

## ◎ 工 事 検 査 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
検 査 係	3		3	
計	4	0	4	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

公共工事の品質向上のため、技術職員の技術力向上は必要不可欠であることから、引き続き技術職員研修について計画的に実施し、職員が積極的に技術を習得できる機会の提供を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延により行えていなかった、市外の建設現場視察による現場研修を計画しているほか、講師を招いての技術職員研修、県の技術職員研修への参加等、多くの職員にいろいろな分野の研修を受講してもらうことにより、技術職員の技術力や知識の向上が図られていると考えています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も工事検査課としての確かな工事検査及び指導を行っていくために、研修会や検査員連絡会などにおいて、情報の収集、交換を行い、検査員としての技術力の向上に努めていきます。また、工事検査や研修会などを通じて、技術職員への情報提供や指導監督を継続していきます。

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
36,579,000	18,035,169	18,543,831	49.3

## 4 工事検査の状況(令和5年9月30日現在)

(単位:件・円)

工事担当課	完 成 検 査		そ の 他 の 検 査				
	件 数	金 額	既済部分	中 間	材 料	材料製造	部分払
道 路 課	23	197,813,000	0	0	0	0	0
河 川 課	6	60,412,000	0	0	0	0	0
公共建築課	8	229,900,000	0	1	0	0	0
水道工務課	9	108,933,000	0	0	0	0	0
下 水 道 課	3	25,795,000	0	1	0	0	0
農業政策課	1	9,779,000	0	0	0	0	0
都市整備課	1	2,706,000	0	0	0	0	0
富士山世界遺産課	2	12,166,000	0	0	0	0	0
清掃センター	0	0	0	0	1	0	0
計	53	647,504,000	0	2	1	0	0

## 5 要望事項等

技術職員の育成について、県主催の各種の研修や市主催の研修が行われ、多くの職員が知識と技術力の向上を図る機会を得ています。引き続き、最近の話題となるテーマでの研修を選定して、技術職員のスキルアップにつながるよう要望します。



## ◇ 企 画 部

### ◎ 企 画 戦 略 課

1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	地域政策推進室 室長
企画調整係	3		3	
地域政策推進室	4	2	6	
計	10	2	12	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

首都圏シティセールスの一環として、関係人口創出のため様々な事業を実施していますが、事業実施後の検証において集約した意見及び課題については、庁内関係部署への情報提供、連携した取組に活用することを要望します。

(2) 処理済の事項

昨年度実施した、本市の地域課題である「若年女性の転出率」をテーマとしたアンケートキャンペーン、オンライン会議及び現地ツアーの結果やいただいたご意見について、ふるさと納税プロジェクトチームにおいて情報提供を行いました。

本年度は、令和6年2月に初開催する「プリンまつり」について、担当課である食のまち推進室と連携し、県内有数の産地である「牛乳」「卵」などの豊富な食資源を本市の魅力としてフォーカスし、ふるさと納税寄附者や市内外の方へ向けてPRする取組を実施しています。

また、昨年度実施した市内のゴルフ場と市街地観光を組み合わせたモニターツアーの結果を基に、富士宮市観光協会と連携し、首都圏の女性をターゲットとしたゴルフ×観光ツアーのパッケージモニターツアーの造成・販売、インフルエンサーによる情報発信及び広告配信、効果検証を行います。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,404,084,000	1,729,355,000	1,727,997,000	1,358,000	32.0	99.9

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,658,027,000	778,519,680	1,879,507,320	29.3

### 4 要望事項等

第6次富士宮市総合計画の策定に着手しましたが、固定概念にとらわれず、市民や民間事業者からの様々な意見も取り入れるなどして策定を進めていくよう要望します。

また、ふじのみや寄附金事業については、人気返礼品の紙製品に加えて市内の事業者や商工会議所と連携し、農業育成など新たな体験型の返礼品などを検討し、地域活性化にもつながるよう努められたい。

## ◎ 富士山世界遺産課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 係	3		3	
計画推進係	3	1	4	育児休業中1
計	7	1	8	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

世界遺産のまちづくりへの取組を強化するため、庁内関係課による推進会議が発足しましたが、富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想に位置づけられた事業の成果、今後の課題を推進会議で確認しながら、事業の見直し、課題解決に向けた意見の集約、整理を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

昨年度発足した「清流の美」「空間の美」「庭園の美」推進会議を構成する各課との連絡調整のもと事業を実施しました。

富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想に基づく浅間大社周辺整備に関しては、地権者との調整など困難な事案もある中、粘り強く進めています。今年度は既に宮町交番跡地等の整備に取り掛かり、今年度後期は一部取得を完了した宮町5号線拡幅用地の暫定整備を予定しています。

また、「名勝・天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画」に基づく白糸ノ滝の整備に関しては、計画どおり進み、今年度は既に音止の滝展望場を整備しました。今年度後期は自然環境育成エリア、景観保全エリアの整備を予定しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

上記の2つのエリアでの整備は世界遺産のまちづくりにおける最も重要な取組であることから、令和5年10月19日に会議を開催し、2つのエリアでの整備をはじめとする、富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想や「名勝・天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画」に位置づけられた事業の成果を確認するとともに、課題事項を共有し今後の事業展開に資するものとしたします。

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
30,653,000	3,865,154	3,865,154	0	12.6	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
120,286,000	21,735,469	98,550,531	18.1

### 4 要望事項等

市道宮町5号線拡幅用地について、地権者からの協力の意向が示されたとのことであるので、適格な対応をし、さらに事業が進むよう努められたい。

また、世界遺産富士山への取組については、保全に向けた対応と観光面における活用の両面について、県及び周辺市町と共通認識を持って取り組むよう要望します。

## ◎ 秘 書 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
秘 書 係	4		4	
計	5	0	5	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

二役の日程調整が正確に行えるようタブレットを導入しましたが、機器の紛失及び情報漏洩に注意し、機器の管理徹底を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

タブレットは、富士宮市情報セキュリティ対策基準に基づき管理を行っており、持ち運びをする際は端末管理台帳を作成しています。万が一紛失したときは、端末のロックやデータ消去などの対策を講ずることとしています。

また、タブレットのログインは指紋認証とし、データの送受信を制限するなど、情報漏洩が発生しないよう最大限の注意を払っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,541,000	3,993,465	6,547,535	37.9

### 4 要望事項等

国内における他市町との交流については、そのきっかけをどのように発展をさせていくのか関係部署に繋ぎ、連携していくよう努められたい。

また、職員1人1台配備のタブレットについては、持ち運びする際に、端末管理台帳への記録を行い、ルールに即して使用されているが、さらに一声かけるなど、引き続き最大限の注意を払って取り扱うよう要望します。

## ◎ 広 報 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
広聴広報係	5	1	6	育児休業中1
計	6	1	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市制施行80周年を記念し作成した記念動画は、シティセールスの推進のため各課と連携し、市が開催するイベント等で活用するよう要望します。また、わかりやすいホームページとなるようホームページの全面見直しを行っていますが、閲覧者のわかりやすい表現を心がけ、古い情報がいつまでも掲載されないよう各課に対し指導を行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

記念動画は、首都圏で開催する移住促進に関するイベントで、会場で流すなどしています。また、移住ポータルサイト内では常に動画が見れるようにしています。

また、ホームページの古い情報につきましては、令和5年6月に全庁に通知をし、古い情報の更新及び削除の依頼をいたしました。今後も引き続き、見やすいホームページ作りを目指して、各課への指導などを行ってまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,320,000	1,260,000	1,250,000	10,000	94.7	99.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
31,775,000	15,604,777	16,170,223	49.1

#### 4 要望事項等

広報技術の向上を図るための研修に積極的に参加されています。広報は、広く人に伝えることであり、時には用語の説明を加えるなど誰が見てもわかるように表記を柔らかく、必要な用語は誤りのないよう、今後も積極的な広報事業に努められたい。

また、ホームページでの発信については、常に最新の情報を多くの方に届ける手段として非常に有効であることから、情報発信の際には正しい情報を迅速に行えるよう、庁内各課への指導も含めて努められたい。

## ◎デジタル推進課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
情報政策係	8		8	
調査統計係	2	1	3	
計	11	1	12	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

次期共同電算化事業も富士市と実施することが決定していますが、今後、国が推進する自治体情報システムの標準化・共通化の対象となる業務については、的確にデータ移行ができるよう各課と連携し準備を進めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

自治体情報システムの標準化・共通化に伴い、ガバメント・クラウドでの標準準拠システムの利用については、次期共同電算事業の中で、的確かつ確実なデータ移行を実行できるよう、デジタル推進課が事務局となり、富士市とも連携しながら計画的に実施してまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

令和6年5月～ 第3期共同電算事業 構築開始

令和7年4月～ ガバメント・クラウド上にシステム構築及びデータ移行 (予定)

令和7年12月29日～ システム移行実施

令和8年1月4日～ システム利用開始 (第3期共同電算事業開始)



### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
72,821,000	11,473,400	11,473,400	0	15.8	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,071,097,000	324,199,247	746,897,753	30.3

### 4 要望事項等

富士市及び富士宮市の第3期共同電算事業の構築が開始され、限られたスケジュールの中で、システム標準化に統一された様式に移行することが大きな課題であります。今後も他市町との連携が的確に行われるように情報収集を行いながら、令和8年のシステム利用がスムーズに開始されるよう努められたい。

## ◇ 財 政 部

### ◎ 財 政 課

#### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	土地開発公社事務局長を 兼務
財 政 係	6		6	
管 財 係	4		4	土地開発公社事務局 係長を兼務1 主任主査を兼務1 主事を兼務2
計	12	0	12	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

市税など歳入見込みの予測は難しいが、歳出は社会保障費の増加だけでなく、原油価格及び物価高騰による経常的経費の増加が見込まれます。引き続き財源確保に向けた情報収集に努め、今後も健全な財政が維持されるよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

令和4年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から依然として厳しい状況にあり、国内外経済への影響、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の更なる高騰や希少物資の供給懸念、金融資本市場の変動などを要因に下振れリスクが懸念され、消費面においても円安を要因とする物価上昇に伴い、先行きの不透明な状況となりました。

このような状況の下、本市の財政状況は令和3年度との比較において、歳入では、固定資産税1億7,649万円(+1.9%)が要因となり、根幹である市税が微増した一方、歳出では、性質別において、物件費が約7億8,874万円(+9.6%)増額となりました。

このような厳しい傾向は、今後も続くものと想定される中、社会保障費や公共施設の長寿命化への対策等も含めた持続可能な財政運営の確立が重要であるという視点に立ち、本市独自の財政規律を踏まえ、効率的な財政運営を推進していくための施策、事業の選択と集中化、歳入確保に向けて国・県支出金等の情報収集や新たな財源の捻出などに努めました。

##### <参考>

##### ○令和4年度決算における主な財政指標

- ①実質収支比率9.6% (R3:12.3%)
- ②経常収支比率92.8% (R3:86.2%)
- ③財政健全化判断比率
  - ・実質公債費比率3.1% (R3:2.5%)
  - ・将来負担比率 -8.9% (R3:0.3%)
- ④市債残高(一般会計)  
32,801,135千円 (R3:33,789,791千円)

- ⑤財政調整基金
  - ・新規積立 1,888,823千円、取崩し 1,807,000千円
  - ・残高 5,957,248千円 (R3:5,875,425千円)
- ⑥主な特定目的基金への新規積立て
  - ・ふるさと応援 935,093千円
  - ・学校施設整備 800,231千円
  - ・職員退職手当 500,017千円
  - ・庁舎整備 400,108千円

(3) 未処理事項の処理予定

○令和5年度予算における健全化措置  
(9月補正後)

- 基金の新規積立て
- ・財政調整 2,631,268千円
  - ※取崩し 1,800,000千円
  - ・ふるさと応援 580,271千円
  - ・学校施設整備 200,432千円
  - ・職員退職手当 200,029千円
  - ・世界遺産富士山 45,311千円
  - ・新型コロナウイルス感染症対策 7,042千円

3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
14,030,121,000	8,041,912,573	8,040,312,925	1,599,648	57.3	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,584,169,000	3,566,820,530	5,017,348,470	41.6

## 4 市債の借入状況(一般会計)

(単位:千円)

借入先	4年度末 現在高	5年度 借入額 (4/1~9/30)	5年度 償還元金 (4/1~9/30)	5年10月1日 現在高
財務省財政融資資金	22,828,508	0	971,339	21,857,169
(旧)簡易生命保険資金	801,463	0	150,776	650,687
地方公共団体金融機構資金	5,582,280	0	157,325	5,424,955
清水銀行	1,400,543	0	114,766	1,285,777
富士宮信用金庫	426,328	0	17,190	409,138
富士伊豆農協	496,405	0	30,793	465,612
市町村職員共済組合	596,634	0	35,818	560,816
市町村振興協会	364,518	0	7,423	357,095
都市自治振興協会	259,910	0	28,270	231,640
全国市有物件災害共済会	44,546	0	10,254	34,292
計	32,801,135	0	1,523,954	31,277,181

## 5 要望事項等

厳しい社会情勢においても、効率的な財政運営を行い、健全な財政状況が保たれています。今後、経済情勢が厳しさを増す中で、引き続き財政の許す限り基金や積立てを備えるなど、国の予算に注目し、柔軟な予算執行ができるよう的確な見積りを行い、次年度につながるよう取り組むことを要望します。

## ◎ 収 納 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
税 制 係	5	3	8	
納 税 係	10	5	15	育児休業中1
特別滞納対策係	4	2	6	
課 付	1		1	静岡地方税滞納整理機構 へ派遣
計	21	10	31	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

納税指導に応じない滞納者や約束不履行者に対し、差押可能財産の発見に努める等、適切な滞納整理を行っています。引き続き、滞納処分を行う際には、法令を遵守し定められた手続に従うと共に、納税者に対し説明をしっかりと行い、納税意識の自覚を促すよう指導を行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

滞納者の財産調査については約束不履行時にすみやかに実施し、財産を発見した際は、法令を遵守し定められた手続に従った滞納処分を行いました。また、納税者に対して、納税に関する説明をしっかりと行い、納め忘れをしないよう納税意識の自覚を促す指導を行いました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
20,970,651,000	20,650,171,387	11,655,974,499	8,994,196,888	55.6	56.4

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
259,198,000	135,775,669	123,422,331	52.4

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,594,702,000	3,255,798,207	899,387,189	2,356,411,018	34.7	27.6

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
28,774,000	9,942,548	18,831,452	34.6

4 市税及び国民健康保険税の収納状況(令和5年10月4日現在)

(単位:円・%)

区 分		調定額 A	収入済額 B	収入率 B/A
市 税	市 民 税	8,540,267,770	4,359,194,741	51.0
	固 定 資 産 税	9,938,681,852	6,393,195,149	64.3
	軽自動車税	494,099,042	464,286,405	94.0
	市たばこ税	405,943,012	405,943,012	100.0
	入 湯 税	10,463,250	10,463,250	100.0
	都市計画税	1,237,599,769	0	0.0
	計	20,627,054,695	11,633,082,557	56.4
国民健康保険税		3,240,021,150	883,610,232	27.3

5 要望事項等

納税相談について、まずは滞納者が窓口に来庁してくれたことを尊重し、家族構成や就学年齢のこどもがいる家庭には配慮をするなどきめ細やかな対応をするよう努められたい。

滞納対策についても、引き続き財産調査を確実にを行い、法令に基づいた厳正的確な滞納処分を実施するよう要望します。

## ◎ 市 民 税 課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市民税係	11	1	12	
法人諸税係	4		4	
計	16	1	17	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市民税の課税ミスが発生しないようダブルチェックを行うなど細心の注意を払っています。課税ミスは、納税者の信頼を損なうため、引き続き、確認作業を入念に行い、よりの確な課税事務を心がけるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

引き続き、市民税の課税ミスが発生しないよう、課税資料の入念なチェックを行い、正確な課税事務を心がけていきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
61,000	60,100	60,100	0	98.5	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
166,700,000	83,668,408	83,031,592	50.2

### 4 課税の状況

#### (1) 市民税

(単位:円・件)

区 分	令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比 較 増 減	
	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数
個人	7,362,413,800	71,574	7,111,633,700	71,252	250,780,100	322
法人	959,581,300	2,215	771,733,000	2,173	187,848,300	42
計	8,321,995,100	73,789	7,883,366,700	73,425	438,628,400	364

## (2) 軽自動車税（環境性能割）

(単位:円・件)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
14,420,600	603	16,729,100	744	△ 2,308,500	△ 141

## 軽自動車税（種別割）

(単位:円・件)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
463,266,300	60,140	452,823,900	59,915	10,442,400	225

## (3) 市たばこ税

(単位:円・本)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	本 数	金 額	本 数	金 額	本 数
487,913,949	74,467,942	481,307,844	73,459,684	6,606,105	1,008,258

## (4) 入湯税

(単位:円・件)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較 増 減	
金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
10,463,250	69,755	9,316,050	62,107	1,147,200	7,648

## 5 個人市民税の申告状況(令和5年9月30日現在)

(単位:人・%)

申告書 提出者数	22,755	当初賦課前 提出者数 (割合)	21,778 (95.7)	当初賦課後 提出者数 (割合)	977 (4.3)
-------------	--------	-----------------------	------------------	-----------------------	--------------

## 6 要望事項等

日頃から入念なチェックのもとに課税事務がすすめられています。課税ミスについては、先入観や知識不足により発生することが多いため、経験の浅い職員の育成に力を注ぐなど、職員同士が互いに税法に精通し、的確な課税事務に対応できるよう要望します。



## ◎ 資産税課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
土地係	10	3	13	産後休暇中1 育児休業中1 病気休暇中1
家屋係	10	1	11	
計	21	4	25	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和6年度の土地評価替えに向けた業務が開始されましたが、固定資産税算出の基礎となるため、慎重に作業の点検及び確認を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

G I S機能を持った土地評価システムを活用することにより、最新の状況を把握するとともに、異動入力したデータの確認作業、その後の現地調査及び評価作業による入力については、複数職員による確認を徹底しています。また、システムを活用した不整合データの抽出を行い、確認若しくは再入力する、というフローにて業務を実施しております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

土地の単価を決定する今年度の委託は3本ありますが、これにより状類及び路線価の価格が決定されることとなります。

現在、作業は最終段階であり、不動産鑑定士及び委託業者と決定に向けて調整中です。

今後、評価基準の改正、基準地価格の通知(県)、提示平均価額の通知(県)を待って最終価格が算出されることとなります。また、その結果については、慎重にシステムに反映していきます。

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
118,000	0	0	0	—	—

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
204,809,000	78,750,401	126,058,599	38.5

#### 4 課税の状況

##### (1) 固定資産税

(単位:円・件)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
9,700,598,300	57,045	9,693,047,900	57,053	7,550,400	△ 8

##### (2) 都市計画税

(単位:円・件)

令和5年9月30日現在		令和4年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
1,209,397,700	36,373	1,196,336,200	36,322	13,061,500	51

#### 5 償却資産の申告状況(令和5年9月30日現在)

(単位:人・%)

対象者数 A	申告者数 B	未申告者数	申告率 B/A
7,035	7,035	0	100.0

(注) 申告期限は、令和5年1月31日まで

#### 6 要望事項等

固定資産路線価設定業務の作業は終了しましたが、日頃から土地や家屋の評価に関しては、課税誤りが発生しないよう、職員同士の情報共有や知識の研鑽に努めるよう要望します。

## ◇ 市 民 部

### ◎ 市 民 生 活 課

#### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	交通対策室 室長
市民安全係	4	1	5	
くらしの相談係	2	6	8	
交通対策室	2	2	4	
計	11	9	20	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

実際にあった振り込め詐欺等の手口を紹介しながら注意喚起を行うことは、市民が身近な問題として捉えることができ、被害の未然防止に役立つため、引き続き、関係機関と連携しながら出前講座等を開催し、市民に対し注意喚起を促すよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

市民の要望に応じて防犯まちづくり出前講座を4回開催し、計90人の市民に対して、最近発生する振り込め詐欺の手口を紹介し、被害に遭わないようにするための対策と合わせて注意喚起を行いました。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
41,985,000	4,093,500	3,277,500	816,000	7.8	80.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
305,004,000	82,295,892	222,708,108	27.0

4 市民活動災害補償制度の給付状況

(単位:件・円)

区 分	件 数	保険給付額(総額)	最高給付額	平均給付額
令和5年9月30日現在	3	32,000	14,000	10,667
令和4年9月30日現在	0	0	0	0

5 宮バスの利用状況(令和5年9月30日現在)

(単位:人・日)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)	運行日数
中 央 循 環	16,928	92.5	183
東 南 循 環	3,133	24.5	128
北 循 環	6,463	50.5	128
芝 川 系 統	9,263	58.6	158
合 計	35,787		

6 宮タクの利用状況(令和5年9月30日現在)

(単位:人)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)
山 宮 エ リ ア	1,255	1.64
山 本 エ リ ア	1,244	1.85
安 居 山 エ リ ア	299	1.35
上 野 エ リ ア	1,223	1.94
南 部 エ リ ア	144	1.16
富 士 根 エ リ ア	651	1.73
北 山 エ リ ア	770	1.17
北 部 エ リ ア	691	1.76
内 房 エ リ ア	422	1.17
合 計	6,699	

## 7 要望事項等

デマンド型乗合タクシー（宮タク）について、近年利用者が増加傾向にはありますが、益々進む高齢化社会に対応すべく利用者の拡大に努める必要があります。現在行われている芝川エリアでの実証実験を検証することはもとより、さらなる利用者を増やす取組の検討や、利用方法や利便性についてのメリットのより一層の周知に力を入れるよう要望します。

また、なかなか後を絶たない振り込め詐欺への対応について、出前講座や事例を含めた記事を掲載するなど、繰り返し市民へ情報提供を行っています。そのような中、高齢者、特に独居老人などは詐欺被害にまき込まれやすいので、勧誘を断る効果的な言葉を記載した周知文書を広報紙や回覧等で伝え、引き続き啓発に努めるよう要望します。

## ◎ 市民交流課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
室長	1		1	女性が輝くまちづくり推進室 室長
市民交流係	3	8	11	市民課市民係 主幹を兼務1 主任主査を兼務1 主事を兼務1 収納課税制係 主幹を兼務1 主任主査を兼務1 主事を兼務1
女性が輝くまちづくり 推進室	3	2	5	
計	8	10	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

(仮称)富士根交流センターは、難航していた用地交渉が解決したことから、いよいよ施設の建設に入りますが、整備が順調に進むよう全体のスケジュールの調整を行い、開館までの準備に万全を期すよう要望します。また、地域住民に対し、工事の進捗状況を説明する等理解と協力を得るよう併せて要望します。

#### (2) 処理済の事項

関係部署と協議し、スケジュールの調整を行いました。今後はそのスケジュールに沿って建設事業を進めていくこととなります。

地元住民に対しては、区長、学校関係者等で組織する建設検討委員会及び富士根南公民館利用者団体代表者に対し説明するとともに、隣接する住民には個別に説明を行いました。また、土地収用法に基づく事業説明会も行いました。さらに、スケジュールが変更となる都度、地権者や事業用地周辺住民に対し説明を行いました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も引き続き、関係機関、部署と調整を継続するとともに、スケジュールの進行状況に合わせて、地域住民へ必要な説明を行っていきます。

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
8,172,000	1,332,822	1,292,554	40,268	15.8	97.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
293,898,000	81,794,145	212,103,855	27.8

### 4 要望事項等

栄州市中学生交流事業については、以前からと同様に、参加した中学生にとって貴重な体験となったことが確認できています。中学生のうちに国外の他都市を訪れることにより、日本の外に出かけていくことに臆することなく、また多くの貴重な体験ができる機会として、今後もこの事業を推進し、国際交流の活性化に努められたい。

また、他の都市交流事業についても、それぞれの交流活動を通して友好親善を図り、国際交流を深めることに努めるよう要望します。

## ◎ 市民課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
庶務係	3		3	育児休業中1
市民係	6	15	21	育児休業中1 産後休暇中1
記録係	9	7	16	育児休業中2
計	19	22	41	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

マイナンバーカード交付事業は、国が令和4年度末までに全国民に行き渡ることを目標とし交付体制の強化を推進したことから、急激な申請者の増加により職員の業務が増加しました。職員の負担軽減を図るため、ダブルワーク及び外部委託により事業の推進を図っていますが、交付誤り等のミスが発生しないよう、本人確認作業を確実に行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

マイナンバーカード交付事業において、カードの誤交付がないよう、交付申請と交付の際に氏名・生年月日の確認、カードと本人の確認、最後に本人にカードを確認してもらい、交付しています。引き続き、本人確認作業を徹底して行っていきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
174,467,000	26,646,772	25,963,024	683,748	14.9	97.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
333,297,000	100,162,332	233,134,668	30.1



## 4 本籍数等の状況

(単位:戸・人)

区 分	本籍数	住 民 基 本 台 帳			
		世帯数	人 口		
			男	女	計
令和5年9月30日現在	57,737	58,750	63,768	64,593	128,361
令和4年9月30日現在	58,060	58,308	64,369	65,253	129,622

(注)1 5出張所分を含む。

(注)2 外国人住民を含む。

## 5 戸籍・住民票の写し等の取扱状況

(単位:件)

区 分	戸 籍 関 係	住 民 票 関 係	印 鑑 関 係	行 政 証 明	臨 時 運 行 許 可	火 葬 場 霊 柩 車	計
令和5年9月30日現在	21,249	28,950	18,592	758	539	1,031	71,119
令和4年9月30日現在	19,705	30,207	18,321	868	540	1,025	70,666

(注) 5出張所、5公民館、2交流センター分を含む。

## 6 要望事項等

マイナンバーカードの出張申請について、要望に応じて団体や施設、個人宅へも伺い、手続きのサポートをするなど普及に努められています。引き続き、マイナンバーカードの普及促進を図るため、このようなサービスを広く周知し、様々な団体等と連携して、普及活動を促進するよう努められたい。

また、窓口業務などに従事する会計年度任用職員が多く在籍するため、貴重な戦力として活躍していただけるよう、正規職員との役割分担や責任の所在を明確にし、業務にあたることを要望します。

◎ 出張所

1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(1) 北山出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

(2) 上野出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

(3) 上井出出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

(4) 白糸出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

(5) 芝川出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	2	2	4	産後休暇中1
計	3	2	5	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

出張所は、身近な出先機関として地域住民から様々な相談、要望が寄せられていますが、引き続き地域の特性に配慮し、きめ細やかな住民サービスに努めるよう要望します。また、県収入証紙及び現金の取扱いについては、事故の未然防止に向け適切な管理を要望します。

### (2) 処理済の事項

#### ○ 北山出張所

高齢者を含めた来所者に対し常に親切、丁寧な対応はもちろんのこと、可能な限り当出張所において事務手続や問合せなどに対応できるよう、担当部署などと連携し、日々職務に当たっております。

また、県収入証紙及び現金の事故の未然防止のため、耐火金庫を購入、日々の集計確認を行う等適切な管理を行っております。

#### ○ 上野出張所

地域住民等来所者からの相談や要望等に対しては、錯誤が生じないように所内で情報共有し、内容によっては、本庁各部署と連絡・連携を図りながら、精査・確認したうえで、親切・丁寧な対応を心がけております。

また、県収入証紙及び現金の取扱いについては、会計規則及び事務処理手順等を遵守し、事故防止のためダブルチェックの遂行と、月末においては、出納簿等を精査し所内決裁処理の実施により的確な処理の遂行に努めております。

#### ○ 上井出出張所

身近な窓口として全ての来所者に対し、親切、丁寧な対応を心がけるとともに、引き続き、本庁及び各出張所との連携に努めてまいります。

また、県収入証紙及び現金の取扱いについては、出張所事務室内の金庫にて保管し、毎月末に、証紙及び現金残額を確認しています。

#### ○ 白糸出張所

地域の行政全般の総合窓口となるため、地域住民に寄り添い、時には現地調査を実施し、関係部署に連絡を取るなど、分かりやすい説明と丁寧な対応に努めています。

また、県収入証紙及び現金の取扱いについては、今年6月に金庫を購入し、現金、通帳等を毎日施錠し管理しています。

#### ○ 芝川出張所

地域住民の方の相談に対しては、内容を把握し担当部署との連絡を取り、きめ細やかな説明と丁寧な対応に努めております。また、県収入証紙の販売及び現金の管理には、適切に販売台帳に記載し金庫での管理をしております。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

(1) 北山出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,327,000	1,260,741	1,260,741	0	95.0	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
6,438,000	3,722,402	2,715,598	57.8

② 北山財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
21,000,000	28,169,498	28,152,474	17,024	134.1	99.9

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
21,000,000	1,865,673	19,134,327	8.9

(2) 上野出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,000	7,880	7,090	790	236.3	90.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
97,128,000	48,534,076	48,593,924	50.0

(3) 上井出出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,200,000	9,200,000	6,200,000	3,000,000	67.4	67.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
18,481,000	10,603,914	7,877,086	57.4

② 上井出区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
26,000,000	21,577,802	21,577,802	0	83.0	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
26,000,000	4,211,727	21,788,273	16.2

③ 猪之頭区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
31,000,000	27,698,137	27,698,137	0	89.3	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
31,000,000	3,687,000	27,313,000	11.9

④ 根原区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
16,000,000	11,607,226	11,064,678	542,548	69.2	95.3

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
16,000,000	487,520	15,512,480	3.0

(4) 白糸出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,000	4,500	4,500	0	112.5	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,793,000	3,556,062	5,236,938	40.4

(5) 芝川出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,750,000	136,692	126,694	9,998	2.7	92.7

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
37,931,000	4,642,793	33,288,207	12.2

4 世帯数及び人口の状況(令和5年9月30日現在)

(単位:戸・人)

区 分	住 民 基 本 台 帳			
	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
北山出張所	3,532	3,908	3,715	7,623
上野出張所	2,110	2,283	2,273	4,556
上井出出張所	1,589	1,681	1,580	3,261
白糸出張所	793	888	888	1,776
芝川出張所	3,292	3,774	3,927	7,701
計	11,316	12,534	12,383	24,917

5 公有財産(令和5年9月30日現在)

(1) 北山財産区特別会計

① 土地(地積)

(単位:m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	385,736.00	4,264.00	390,000.00
貸 付 地	52,461.00	△ 4,264.00	48,197.00
計	438,197.00	0.00	438,197.00

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	385,736.00	4,264.00	390,000.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	385,736.00	4,264.00	390,000.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	12,572
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	12,572

## ④ 物品

（単位：台）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
連絡用自動車	1	0	1

## ⑤ 基金

（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	520,000,000	△ 100,000,000	420,000,000
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	111,411,064	100,000,000	211,411,064
	債 権	0	0	0
計		631,411,064	0	631,411,064



## ⑥ 土地貸付収入の状況 9件

(単位:円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
北山区 3件	83,000	83,670	83,670	0	100.8	100.0
山宮区 6件	110,000	110,333	110,333	0	100.3	100.0
合計	193,000	194,003	194,003	0	100.5	100.0

## (2) 上井出区財産区特別会計

## ① 土地(地積)

(単位:m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	85,934.00	0.00	85,934.00
原 野	24,999.00	0.00	24,999.00
宅 地	84,108.81	0.00	84,108.81
畑	2,043.00	0.00	2,043.00
墓 地	2,669.19	0.00	2,669.19
そ の 他	19,491.20	0.00	19,491.20
計	219,245.20	0.00	219,245.20

## ② 山林(面積)

(単位:m<sup>2</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	85,934.00	0.00	85,934.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原に よるもの	0.00	0.00	0.00
計	85,934.00	0.00	85,934.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）（単位：m<sup>3</sup>）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	0
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	0

④ 基金（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債券	349,980,273	0	349,980,273
	債権	0	0	0
現金	預金	73,263,727	0	73,263,727
	債権	0	0	0
計		423,244,000	0	423,244,000

⑤ 土地貸付収入の状況 6件（単位：円・%）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,279,000	2,281,290	295,270	1,986,020	13.0	12.9

(3) 猪之頭区財産区特別会計

① 土地（地積）（単位：m<sup>2</sup>）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	8,498,782.00	0.00	8,498,782.00
原野	2,265.00	0.00	2,265.00
宅地	5,507.55	0.00	5,507.55
田・畑	2,406.00	0.00	2,406.00
その他	683.00	0.00	683.00
計	8,509,643.55	0.00	8,509,643.55

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	8,498,782.00	0	8,498,782.00
分 収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	8,498,782.00	0	8,498,782.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	247,816
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	247,816

## ④ 出資による権利

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	200,000	0	200,000

## ⑤ 基金

（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	69,703,094	0	69,703,094
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	30,792,906	0	30,792,906
	債 権	0	0	0
計		100,496,000	0	100,496,000

## ⑥ 土地貸付収入の状況 16件

（単位：円・％）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,708,000	2,920,294	2,920,294	0	37.9	100.0

## (4) 根原区財産区特別会計

## ① 土地（地積）

(単位: m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
原 野	2,812,485.00	0.00	2,812,485.00
宅 地	915.01	0.00	915.01
畑	97,856.00	0.00	97,856.00
墓 地	4,017.00	0.00	4,017.00
計	6,415,498.01	0.00	6,415,498.01

## ② 山林（面積）

(単位: m<sup>2</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

(単位: m<sup>3</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	80,050
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	80,050

## ④ 出資による権利

(単位: 円)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	100,000	0	100,000

## ⑤ 土地貸付収入の状況 6件

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
6,746,000	2,552,349	2,009,801	542,548	29.8	78.7

## 6 要望事項等

出張所では、受付機会が少ない中でも市民課との連絡会議や、法務局における研修、マニュアルの活用により知識の習得に努められています。地域住民は、様々な相談に訪れることから、時には関係部署と連絡を取り合い、利用者へのサービスの向上に引き続き努められるよう要望します。

## ◎ 保険年金課

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 険 給 付 係	8	7	15	育児休業中1 産後休暇中1
資 格 賦 課 係	4	2	6	
後期高齢者保険係	6	2	8	静岡県後期高齢者医療広域連合 へ派遣1
国 民 年 金 係	3	2	5	
計	22	13	35	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

医療費抑制のため、病気の重症化予防、早期発見を目的とした特定健診・特定保健指導の役割は大きく、その受診率、実施率の向上が課題となっています。他市町の取組について情報収集を行う等、特定健診の受診勧奨の検討を行っていることから、参考となる事例は積極的に取り入れ、引き続き受診率向上に向けた取組を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

他市町の取組について情報収集を行っております。どの市町においても健診の受診率向上は課題であるため、概ね同様の取組をされていますが、今後も情報収集を継続し、新たな好事例が確認できた場合は、積極的に取り入れて参ります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和5年10月4日現在）

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
765,862,000	10,013,000	10,013,000	0	1.3	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,546,585,000	1,617,433,918	929,151,082	63.5

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,853,812,000	4,476,317,651	4,375,790,532	100,527,119	40.3	97.8

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,419,740,000	5,033,489,450	8,386,250,550	37.5

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,204,514,000	2,695,079,577	1,866,575,347	828,504,230	58.2	69.3

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,204,514,000	1,480,088,146	1,724,425,854	46.2

4 国民健康保険被保険者の状況（令和5年9月30日現在）

(単位:世帯・人・%)

区分	市総数 A	被保険者数 B	加入率 B/A
世帯数	58,750	17,460	29.72
人員	128,361	26,092	20.33

5 静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数（令和5年8月31日現在）（単位：人）

富士宮市	20,921	広域連合	602,495
------	--------	------	---------

6 要望事項等

特定健診受診率については、他市町同様にその伸び悩みが課題となっているが、他市の取組を研究し、受診勧奨ハガキを出すなど受診率向上に取り組んでいます。さらには、イベント等の人が集まる場所を利用して、健診の重要性や必要性を啓発するなど、受診を促す取組を心がけるよう要望します。



## ◇ 産 業 振 興 部

### ◎農 業 政 策 課

#### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度任用 職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	農業委員会事務局長を併任
室 長	1		1	食のまち推進室 室長
農 業 係	6	2	8	育児休業中1
畜産・養鱒係	4	1	5	
林 業 係	4	3	7	
食のまち推進室	1	1	2	
計	18	7	25	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

物価及び燃料価格の高騰により、経営が圧迫された農業経営者への支援として補助金が交付されています。引き続き、国、県の支援対策に注視しながら、市内農業経営者の事業継続や経営安定を図るべく、経営者の現状把握を行い、関係機関と連携しながら支援を行うよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

飼料や燃料など価格が高止まりしていて厳しい経営状況は続いています。このため、粗飼料の高騰した分の一部を補助するなど安定した経営ができるよう支援しました。  
また国や東海市長会に対し、酪農に対する支援を強化するよう要望をあげました。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
151,926,000	45,775,940	44,883,165	892,775	29.5	98.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
552,687,000	277,908,506	274,778,494	50.3

4 農業経営基盤強化促進事業(認定農業者制度) (令和5年11月30日現在)

(単位:人)

認定農業者数	営農種別ごとの内訳
161	酪農50、肉用牛10、養豚9、養鶏7、茶23、露地野菜25、施設野菜17、果樹類1、花き・花木14、稲作2、雑穀・いも類・豆類1、その他2(コケ類・孵卵)

5 利用権設定等促進事業(農地利用集積) (令和5年11月30日現在)

(単位:件・ha)

区 分	件 数	面 積
利 用 権 設 定	80	23.64
所 有 権 移 転	2	1.40
計	82	25.04

6 要望事項等

飼料や燃料の高騰による厳しい畜産業に対し、市独自で補助金を交付するなど農業経営者を手厚く支援しています。酪農家の育成や就農を支援するための新たな政策を課題と捉え、当事者を交え、抱える課題や今後の酪農について世代間が意見を出し合い、今後でもできる限りの支援が行えるよう検討することを要望します。

## ◎ 観光課

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
観光企画係	3	2	5	
観光施設係	4		4	
計	8	2	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市内の観光資源を発信するためVR技術を活用した動画を制作しますが、VRのメリットを活かした情報発信を行い、観光客の増加につながるよう庁内関係部署と連携して取組を行うことを要望します。

また、新稲子川温泉ユウ・トリオの指定管理者が、令和5年度から変更となりますが、前指定管理者からの引継ぎが的確に行われ、今後の営業に支障が生じないよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

制作したVR動画は、世界遺産富士山とその構成資産の文化的・歴史的な価値を伝えるもののほか、朝霧高原をはじめとした大自然を舞台に楽しめる様々なアクティビティやアウトドアを臨場感を持って伝える内容となっています。パンフレットや言葉では伝えきれない富士宮市の魅力を視聴者に伝えることができることから、富士山世界遺産課と連帯し、県内外の様々なイベントの場などを利用してPRを行っています。

令和5年4月1日から指定管理者が変更となり、4月7日から営業が再開されました。再開当初は、機械の取扱いが不慣れでとまどう様子が見受けられましたが、現在は順調に営業しております。今後も、指定管理者と協力して誘客を図り、地区の活性化に繋がりたいと考えております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
143,320,000	42,091,822	31,018,644	11,073,178	21.6	73.7

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
480,288,000	242,914,504	237,373,496	50.6

#### 4 観光諸行事の状況（令和5年12月6日現在）

行 事 名		実 施 月 日	参 加 人 員	備 考	
やぶさめ祭		5月4日～6日 (3日間)	75,000 人	浅間大社	
富士山 まつり	富士山お山開き	7月10日	6,150 人	浅間大社、 村山浅間神社	
	富士山御神火まつり	8月 5日	35,000 人	浅間大社、 市街地	
	宮おどり	8月 6日	3,500 人	浅間大社、 市街地	
	富士の巻狩り				
		狩宿さくらまつり	4月8日～9日 (2日間)	4,000 人	狩宿の下馬桜周辺
		陣馬の滝まつり	8月20日	4,000 人	陣馬の滝周辺
	芝川日和				
		内房たけのこ・桜まつり	4月 2日	2,500 人	内房稲瀬川沿い
	稲子まつり	6月11日	1,500 人	新稲子川温泉 ユ－・トリオ	
	柚野の里縄文まつり	11月25日	1,800 人	富士山縄文の里 大鹿館	
富士山衛生センター開設 (八合目診療所)		7月21日～9月3日 (45日間)	医師9名、補助者14名 診療件数 333 件	富士山	
富士宮まつり		11月3日～5日 (3日間)	60,000 人	浅間大社、 市街地	
信長公黄葉まつり		11月12日	8,000 人	富士山西山本門寺	
富士と琵琶湖 を結ぶ会	近江八幡市来宮	7月30日～8月1日 (3日間)	来訪者 25 人	浅間大社	
	近江八幡市訪問	11月9日～10日 (2日間)	参加者 39 人 (一般市民19人、行政 関係13人、観光協会7人)	近江八幡市	

#### 5 要望事項等

新稲子川温泉ユ－・トリオについて、指定管理者の変更後、順調に営業が行われています。温泉の利用だけでなく、地場産品や加工品の販売を考える等の営業努力を行うことも視野に入れて、ユ－・トリオの名を広めるよう集客に努められたい。

また、富士宮市は、魅力ある観光資源に恵まれていることから、その資源を包括的に活用して、世界に向けてアピールしていく姿勢を心がけられたい。

## ◎ 商工振興課

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	勤労者福祉共済会事務局長を 兼任
工業振興・労政係	3	1	4	
知財戦略・商業係	3	2	5	
計	7	3	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

新たに事業を始めようとする人、既に事業を始めている人の総合相談窓口としてビジネスコネクトふじのみやが活用されています。引き続きビジネスコネクトふじのみやが、経営上発生する様々な課題の解決に向け、気軽に相談できる窓口として活用されるよう周知を行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

ビジネスコネクトふじのみやの周知については、各種セミナー等参加者への案内、全戸に向けて広報誌「ビジコネ」を年2回発行、2か月間にわたるラッピングトラックの設置、各支援機関による掲示や口コミによるPRに加え、出店（出展）関係のイベント、各種事業者団体の会合等へ積極的に参加し直接ビジネスコネクトふじのみやの広報を行いました。また、各種イベント等に参加した際の事業活動をリアルタイムでSNSに投稿、隔月で広報ふじのみやでの市内事業者の紹介と共にビジネスコネクトふじのみやの広告を掲載する等、事業者の方々はもちろん、多くの市民へもビジネスコネクトふじのみやの窓口の存在を知っていただけるよう、周知活動に取り組みました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
396,664,000	16,821,228	16,816,618	4,610	4.2	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,102,819,000	780,074,329	322,744,671	70.7

4 中小企業に対する各種融資制度とその状況(令和5年11月30日現在) (単位:円・件・%)

	小口資金 融資制度	短期経営改善資金 融資制度	中小企業育成 融資制度
資金使途	運転・設備資金	運転資金	運転・設備資金
融資額	6,000,000	133,800,000	1,575,000,000
融資件数	4	25	80
融資債務残高 (金額)	71,325,000	57,400,000	6,119,000,000
融資債務残高 (件数)	38	11	176
利子補給金 B	120,932	109,021	—
市預託金 B	—	—	10,000,000
予算額 A	568,000		10,000,000
予算額に対する 実績の比率 B/A	40.48		100.0

5 要望事項等

ビジネスコネクトふじのみやについて、様々な周知活動が行われた成果として、着実に相談件数が増えています。必要とされている情報は何かを考え、積極的に発信、案内するとともに、相談者の安心感が増すような窓口となるよう要望します。

## ◇ 環 境 部

### ◎ 環境企画課

#### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	環境エネルギー室 室長
環境衛生係	3	2	5	
環境エネルギー室	4	2	6	河川課計画係 主任主査が兼務1
計	10	4	14	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

ゼロカーボンシティの実現には、官民一体となって取り組む必要があることから、創エネ・蓄エネ機器設置費等補助金に新たに事業者への補助が追加になったことは、非常に有効であると考えられます。引き続き補助事業を効果的に実施するとともに、ゼロカーボンシティの実現に向け、市民の機運醸成を図る取組を行うよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

ゼロカーボンシティの実現に向けた機運醸成を図るため、環境フェアなどのイベント開催や公共交通事業者の車両を活用した周知活動を実施しました。また、市民向け及び事業者向け創エネ・蓄エネ機器設置費等補助金事業の拡充について検討し、来年度予算に要求しました。

##### (3) 未処理事項の処理予定

引き続きゼロカーボンシティの実現に向け、継続的なイベント開催及び補助事業の実施、周知活動を行います。

3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
86,950,000	23,289,883	22,348,183	941,700	25.7	96.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
312,817,000	117,334,949	195,482,051	37.5

4 富士宮聖苑の利用状況(令和5年11月30日現在)

(単位:日・件)

区 分	稼動日数	火 葬		火 葬 ( 小 動 物 等 )	
		件 数	1 日平均	件 数	1 日平均
市 内	202	1,023	5.06	145	0.72
市 外		24	0.12	0	0.00
計		1,047	5.18	145	0.72

5 要望事項等

ゼロカーボンシティの実現に向けた様々な取組により、市民の認識の向上に努められています。その一方で、環境に与える影響等にも配慮が必要な場合があるので、状況判断を行いながら正しい情報を周知し事業を進めるよう要望します。



## ◎ 生活環境課

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
環境保全係	4		4	
廃棄物対策係	6		6	
計	11	0	11	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

外国籍の方は、ごみの分別方法が分からず地域の方とトラブルになることが考えられるため、外国籍の方に対し、ごみの分別ルールについて分かりやすい周知を行うよう要望します。また、災害時におけるごみの仮置場は確保されていますが、災害時のごみ収集は、市民の混乱が予想されることから、想定される課題について、関係機関及び関連部署と連携し、平常時から準備を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

##### (外国籍の方への周知・啓発の取組)

- ・ごみ収集日程表(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)の配布

- ・ごみの分別についての説明の実施

A. C. C. 国際交流学園で授業の一環として生徒を対象にごみの分別について説明(2回実施) 参加人数 300人

市内在住在勤の外国人を対象に、大富士交流センターを会場に行われた、ふじのみや「はじめての日本語」教室の中でごみの分別について説明

参加人数 17人

##### (災害時のごみの収集及び処理)

- ・災害時のごみ収集

日常使用しているごみ集積所に排出されたごみを委託業者が収集しますが、委託業者による収集ができない場合は、市が許可している一般廃棄物収集運搬業者への協力の依頼や、県内市町で締結している「一般廃棄物処理に関する災害時等の相互援助に関する協定」に基づき支援を求めます。

- ・災害時のごみ処理

清掃センターで処理することになっていますが、支障をきたす場合は、災害廃棄物の処理について協定を締結している市内3社、市外1社の廃棄物処理事業者に処理を依頼します。

- ・想定される課題

ごみ集積所以外の自宅周辺の公園等への排出や、事業系ごみ、家電4品目(テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等)、処理困難物などの排出が想定されますが、委託業者は通常の収集業務に加え災害廃棄物の収集を並行して行うため、収集車両や人員の確保、また、清掃センター等の処理施設が被災した場合の対応方法が課題となります。

- ・体制の整備

協定業者…仮置場の運営方法について協議を開始しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

##### 【今後の取組】

##### (外国籍の方への周知・啓発の取組)

- ・令和6年度から現在の5か国語のごみ収集日程表に加え、ベトナム語を加えた6か国語のごみ収集日程表を作成し周知・啓発していきます。

##### (災害時のごみの収集及び処理)

- ・事業者を含めた緊急時の連絡体制の整備や関係機関及び事業者と想定される課題について検討していきます。

3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

(1) 歳入 (単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
1,757,000	1,730,856	1,711,386	19,470	97.4	98.9

(2) 歳出 (単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
611,427,000	351,925,935	259,501,065	57.6

4 公害苦情の状況(令和5年11月30日現在) (単位:件)

大気関係	水質関係	騒音関係	悪臭関係	振動関係	その他	計
10	1	21	16	1	0	49

5 ごみ収集の状況 (単位:日・t)

区分	令和5年11月30日現在			令和4年11月30日現在			比較増減		
	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量
可燃物	204	15,640.65	76.67	203	16,104.13	79.33	1	△ 463.48	△ 2.66
不燃物	69	676.20	9.80	69	709.51	10.28	0	△ 33.31	△ 0.48
乾電池	69	20.79	0.30	69	21.61	0.31	0	△ 0.82	△ 0.01
瓶	生ビン	3.57	0.09	40	3.70	0.09	0	△ 0.13	0.00
	カレット	414.31	10.36	40	426.27	10.66		△ 11.96	△ 0.30
缶	スチール	104.93	2.62	40	117.61	2.94	0	△ 12.68	△ 0.32
	アルミ	60.37	1.51	40	64.98	1.62		△ 4.61	△ 0.11
ペットボトル	80	209.11	2.61	80	206.22	2.58	0	2.89	0.03
トレイ	39	8.66	0.22	39	8.81	0.23	0	△ 0.15	△ 0.01
紙パック	40	6.36	0.16	40	6.57	0.16	0	△ 0.21	0.00
粗大ごみ	10	102.32	10.23	10	111.87	11.19	0	△ 9.55	△ 0.96
蛍光灯等水銀使用製品廃棄物	10	2.74	0.27	10	3.20	0.32	0	△ 0.46	△ 0.05

6 要望事項等

災害時のごみ収集や処理について、方向性を定めながら準備が進んでいます。そのような中、災害の状況や地区によって違いがあることを課題として捉え、近年起きている実際の災害等の情報を参考に、有事の際に素早く対応できるよう必要な準備をしておくことを要望します。

## ◎ 花と緑と水の課

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
公園緑地係	4	3	7	育児休業中1
自然保全係	3		7	
		4		富士山環境交流プラザ
計	8	7	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市内の公園について、長寿命化計画に基づき施設整備及び遊具の更新が進められています。引き続き誰もが安全、安心、快適に利用できるよう、また、利用者の意向に沿った施設整備、遊具の更新を進め、市民憩いの場として、より活用される公園となるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

遊具のデザインや機能の選定に当たっては、長寿命化計画の基準（同規模、同程度）に基づきながら、「ふじのみやハハラッチ」や「富士宮市民と子育て環境を考える会」などの子育て世代と広く情報交換を行い、ニーズを把握するとともに、安全性に配慮しつつ遊びの中で身体機能の向上や社会性、創造性を高められるような遊具の選定を行いました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

現在、公園に求められる機能が多様化しており、幅広い年齢層のふれあい、レクリエーション活動、防災機能など地域のコミュニティー活動の拠点としての機能を求められることから、幅広い世代の憩いの場として、健康遊具や防災機能を有した施設の整備について検討いたします。

### 3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
51,485,000	1,760,934	1,731,786	29,148	3.4	98.3

#### (2) 歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
593,074,000	181,528,639	411,545,361	30.6

## 4 公園等の状況（令和5年11月30日現在）

（単位：箇所・㎡）

区 分	箇 所 数	面 積	平 均 面 積
都 市 公 園	33	857,823	25,995
小 公 園	118	37,242	316
広 場	17	219,068	12,886
緑 地	26	126,762	4,875
計	194	1,240,895	6,396

（注）都市公園は、都市公園法による公園とする。

## 5 樹木等の保存指定の状況（令和5年11月30日現在）

（単位：件）

区 分	指 定 件 数
樹 木 （ 本 ）	41
樹 林 （ か 所 ）	19
湧 水 池 （ か 所 ）	16
計	76

## 6 要望事項等

公園施設の長寿命化計画に基づき、整備事業を計画的に進めています。そのような中で、市民の防災に対するニーズもますます高まり、様々な用途での使用が期待されております。地域住民の安心安全を考え、先進事例等の情報収集を行って、より良い公園施設を整備するよう要望します。

## ◎ 清掃センター

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
総 務 係	2	2	4	
施 設 係	10		10	
計	13	2	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和3年度の豪雨災害以降、土砂が流入している鞍骨沢最終処分場調整池について、応急処置的に土砂の撤去を行っていますが、土砂の堆積が短期間で進んでおり、早急に対応する必要があるため、関連機関及び関連部署と連携しながら対策を検討するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和4年11月から令和5年3月にかけて、最終処分場流域検討資料作成業務を行い、処分場に流入する雨水等の水域と流入量の基礎資料を作成し、庁内関係各課（企画戦略課、農業政策課、管理課、河川課、道路課）及び関係機関（富士砂防事務所、富士土木事務所）に示しました。

令和5年3月からは、最終処分場土砂流入防止計画策定業務に着手し、放流水路設置のための候補地を検討してきました。その間、富士砂防事務所、富士土木事務所、富士農林事務所などの関係機関との連絡調整及び庁内関係各課を集め、検討会議を複数回開催し、情報共有、意見聴取を行ってきました。12月に、候補地の最終案の概要を富士砂防事務所に説明し、内諾を得ています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後は、砂防指定地域内における水路建設のための事前協議を富士砂防事務所、富士土木事務所と行ってまいります。

### 3 予算の執行状況(令和5年12月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
652,483,000	116,095,883	101,084,939	15,010,944	15.5	87.1

## (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,703,392,000	634,544,612	1,068,847,388	37.3

## 4 要望事項等

焼却施設の故障等により処理機能が停止することのないよう、定期的な整備やコンベヤ室の更新工事が行われております。清掃センターの業務を市民や事業者理解・協力してもらうことにより、ゴミの減量化が図られるという効果を周知し、認識を深めていただくよう努められたい。

また、今後ゴミのリサイクルが進んでいく中で、間もなくプラスチックゴミの分別収集が開始されることから、速やかな対応が行われるよう要望します。

## ◇ 保 健 福 祉 部

### ◎ 福 祉 企 画 課

#### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	子ども統括監を兼務
福祉企画係	3	5	8	
地域包括ケア推進係	6	9	15	
計	11	14	25	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

高齢化の進行により成年後見制度の必要性は高まっており、制度の新たな担い手として期待されている市民後見人ですが、業務に対する負担が大きいことから、関係機関と連携して、市民後見人に対する情報提供等、支援体制の構築に取り組むよう要望します。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更になりますが、感染症の発生時に迅速かつ的確に対応するため、引き続き関係機関等と情報共有を行うよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

市民後見人については、平成30年度に第1期、令和3年度に第2期の養成講座を実施し、令和5年5月1日現在で13人が市民後見人候補者名簿に登録されました。社会福祉協議会で日常生活自立支援事業などの実務を経た後、9人が市民後見人として現在活動中です。市では社会福祉協議会と協働して、養成講座修了者のフォローアップ研修の実施、修了者の活動のサポート、講演会等の成年後見制度普及啓発事業を通じて、市民後見人の支援を継続的に実施してまいります。

本年、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更になりました。今年度は、既にインフルエンザが流行しており、今後、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も懸念されております。感染症の発生時に迅速かつ的確な対応策を実施できるよう、富士宮市医師会、市立病院、救急医療センター等と情報を共有し、感染蔓延防止策や医療ひっ迫軽減策等に備えた対応を検討してまいります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

#### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

##### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
89,487,000	30,156,604	28,258,660	1,897,944	31.6	93.7

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,068,181,000	715,024,229	353,156,771	66.9

## (2) 介護保険事業特別会計

## ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
151,650,000	63,897,795	87,752,205	42.1

## 4 総合福祉会館利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用人員 A	開館日数 B	1日当たり利用人員 A/B
令和5年10月31日現在	42,381	174	244
令和4年10月31日現在	35,503	174	204
比較増減	6,878	0	40

## 5 救急医療センターの受診者状況 (令和5年10月31日現在)

(単位:日・人)

診療科目		診療日数	受診者数	1日平均受診者数
医 科	内 科	214	3,140	14.7
	小 児 科		1,649	7.7
	外 科		2,896	13.5
	小 計		7,685	35.9
歯 科		40	94	2.4
合 計			7,779	

## 6 要望事項等

関係機関と協力体制を築き、市民後見人の活動支援に努められています。後見制度は一般の方に周知されてきたと思いますので、今後も社会福祉協議会等と連携し、より一層の支援体制の確立に努め、講座等で養成された市民後見人が実際の活動を行って役立つよう要望します。



## ◎ 高齢介護支援課

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
指導総務係	7	3	10	育児休業中2 病気休暇中1
介護保険係	7	4	11	
認定審査係	6	16	22	
計	21	23	44	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

高齢化が進み要介護認定者は増加しています。介護保険サービス利用者の増加による給付費抑制のため、重度化防止への取組がますます重要となることから、引き続き、庁内関係部署、関係機関との情報共有を図り、連携して介護予防に向けた取組を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

介護予防は高齢者だけでなく、高齢者を支える若い世代の介護予防への理解が必要なことや、介護制度利用前からの介護予防の周知や健康づくりが重要なことから、関係する庁内関係課から成る地域包括ケア推進ワーキンググループで、情報共有・課題整理を行い、連携した取組を行っています。また、第9期介護保険事業計画策定にむけて実施した介護予防・日常生活圏ニーズ調査の結果をもとに、各地域包括支援センター長、社会福祉協議会職員、健康増進課専門職等から各機関の取組や課題等のヒアリングを行いました。引き続き関係機関と情報共有を行い、介護予防活動の促進のため関係機関からの意見をいかした計画作成を進めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
299,773,000	101,569,155	68,375,365	33,193,790	22.8	67.3

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2, 221, 743, 000	522, 678, 234	1, 699, 064, 766	23. 5

## (2) 介護保険事業特別会計

## ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
13, 883, 062, 000	12, 572, 608, 753	6, 695, 458, 473	5, 877, 150, 280	48. 2	53. 3

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13, 723, 101, 000	5, 711, 775, 814	8, 011, 325, 186	41. 6

## 4 要介護認定状況 (令和5年10月31日現在)

(単位:件)

申請件数	認定審査件数
2, 558	2, 479

## 5 要支援・要介護認定審査の状況 (令和5年10月31日現在)

(単位:件・%)

介護度別判定	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	再調査	計
件数	10	223	302	666	414	339	312	213	0	2, 479
(前年同期)	(7)	(216)	(335)	(682)	(486)	(364)	(322)	(261)	(0)	(2, 673)
構成比	0. 4	9. 0	12. 2	26. 9	16. 7	13. 7	12. 6	8. 5	0. 0	100. 0
(前年同期)	(0. 3)	(8. 1)	(12. 5)	(25. 5)	(18. 2)	(13. 6)	(12. 0)	(9. 8)	(0. 0)	(100. 0)

## 6 要望事項等

介護予防について市内関係課や外部の関係機関と連携した取組が行われています。要介護者にならない、またヤングケアラーを増やさないことが今以上に必要であり、重要な課題となっています。それぞれの立場で相互理解し意見を出し合い、検証することにより、課題の解決策につながる場合もあることから、現状と将来を見据えて課題に取り組むことを要望します。

## ◎障がい療育支援課

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
障がい支援係	8	6	14	育児休業中1
療育支援係	6	6	12	育児休業中2
計	15	12	27	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

① 地域生活支援拠点整備事業は、平常時からサービスを体験することで、緊急時に円滑なサービス利用ができるよう体制を整えています。障がいのある方が地域社会で安心して生活できるよう、引き続き関係機関と連携しサービスの充実を図るとともに、サービス利用が必要な人の積極的な利用につながるよう周知を図るよう要望します。

② 園児の発達に合わせたクラス分けを行い、園児の成長を見守りながら療育支援を実施しています。引き続き職員全体で情報共有を行い、障がい療育支援課と連携しながら支援に取り組まれるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

① 関係機関とは年2回ネットワーク会議を開催し、情報共有を行い、緊急時の受入れがスムーズに実施できるよう連携体制の強化を図るとともに、名簿登録者には、緊急時に備え短期入所の施設見学や体験利用を積極的に進めています。また、今年度は事業を周知するため、民生委員児童委員協議会へ利用方法について説明を行っております。

② クラス分けの方法は、新入園児の場合は、あすなる園の職員と療育支援係の職員が連携を取り、親子の園見学にも同席しながら、意見交換や情報共有をして決めております。在園児の場合は、あすなる園職員が日々のこどもの様子を共有しながら発達に合わせたクラス分けを行い、療育支援係職員と情報連携しております。また、新年度が始まってから見える特性やこども同士の相性の問題もあるため、4月の間は試行期間とし、保護者の方にも理解していただいた上で見直しができるようにする等、全職員が連携し、丁寧な療育支援に取り組んでおります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,688,726,000	800,668,956	756,640,958	44,027,998	28.1	94.5

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,981,948,000	2,424,498,759	1,557,449,241	60.9

### 4 要望事項等

障がい児及び発達障がい児の相談支援について、健診をきっかけに助言するなど早期発見ができるための取組をされています。当初は電話による相談が多いとのことなので、より丁寧な対応を心掛け、寄り添うよう努められたい。

また、地域生活支援拠点整備事業については、引き続き、制度の周知を幅広く行っていくことを要望します。

### 5 あすなる園

#### (1) 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
園 長	1		1	
保 育 士	6	8	14	育児休業中1
調 理 師	1	1	2	
計	8	9	17	

※派遣看護師1人

#### (2) 入園児の状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

年 齢	3歳児	4歳児	5歳児	計
人 数	8	8	14	30

#### (3) 要望事項等

あすなる園では、作業療法士や言語聴覚士などの専門職による療育相談業務を行い、希望があれば個別の対応も行うなど、きめ細やかな療育体制を整えています。委託業務を活用して現場で専門職から直接指導を行ってもらえることは、職員の資質の向上にもつながるため、引き続き療育支援課や委託事業者と連携しながら支援に取り組まれるよう要望します。

## ◎福祉総合相談課

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
福祉相談支援係	4	3	7	病気休暇中1
保護係	9	1	10	
計	14	4	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

扱う相談内容は、解決が困難な案件や対応が難しい案件が多く、ケースワーカーや相談員の負担が大きいため、職員同士がフォローできる体制の構築と、情報が漏洩しないよう相談記録の管理徹底を要望します。

#### (2) 処理済の事項

ケースワーカーについては、ペアを組み、お互いを助け合う体制を整えています。相談員についても、相談内容は職員間で共有し、皆で意見を出し合いながら対応しています。また、相談記録については、専用システムへの入力やケース記録ファイルで厳重に管理しており、必要時以外は鍵のついたキャビネット内に保管するなど、情報が漏洩することのないようにしています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,216,301,000	883,735,769	707,735,788	175,999,981	58.2	80.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,775,985,000	1,016,020,003	759,964,997	57.2

### 4 長生園入園者の状況(令和5年10月31日現在)

男	女	合計	平均年齢		最高齢者		最年少者	
			男	78歳11月	男	91歳	男	68歳
			女	84歳2月	女	98歳	女	70歳
26人	23人	49人						

## 5 生活保護の実施状況

(単位：世帯・人・円)

区 分	延世帯数	延人員	支給総額	1世帯月平均 支給額	1人月平均 支給額
令和5年10月31日現在	3,809	4,748	678,652,500	178,170	142,934
令和4年10月31日現在	3,526	4,317	663,671,393	188,222	153,734
比 較 増 減	283	431	14,981,107	△ 10,052	△ 10,800

## 6 要望事項等

相談業務について、関係部署や専門機関と協力し解決に向けて取り組んでいます。年々高齢化が進むとともに老々介護も増加傾向にあり、特に外に助けを求められないまま状態が悪化するようなケースを防ぐために、引き続き相談機関の存在の周知に努め、相談者の理解を深めていく体制を整えていくことを要望します。

## ◎ 子ども未来課

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
子育て支援係	15	12	27	育児休業中1
保 育 係	8	6	14	育児休業中1
家庭児童相談係	3	3	6	
計	27	21	48	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

① 開館した児童館に地域子育て支援センター等子育てに関する機能が集約され、子育て世代への認知度、利便性が向上したことにより利用者が増加しました。児童館に併設したことの利点を活かし、引き続き、気軽に相談できる体制の構築を行うよう要望します。

② 子ども未来課と連携しながら、施設の維持管理及び感染症対策を実施し、また、保護者からの相談にも積極的に応じています。園の運営には、様々な課題と負担が発生すると思いますが、その都度、子ども未来課や他園とも情報共有を行い、早期に対応できるよう要望します。また、保育士等の負担の平準化に対応した勤務体制の構築を検討していくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

① 児童館は、オープン時から原則予約制での運用を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となった本年5月9日から予約制を撤廃し、自由に入館できるようにしました。これにより、利用者はさらに増え、本年5月から10月までの利用者は延べ21,189人を数え、前年同時期に比べ9,957人、88.6%の増となりました。

児童館の利用者数が増えたことにより、児童館の各機能（地域子育て支援センターおのみや、子育て世代包括支援センター、ファミリー・サポート・センター）の認知度が向上し、それぞれの利用者も増えたことから、集約化の効果がより活かされていると認識しております。

今後もより多くの利用者を受け入れた上で、職員から積極的にあいさつ及び声掛けを行い、気軽に相談ができる体制を構築できるよう、各機能が一体となり、努力してまいります。

② 保育園運営に当たっては、各園から上がってきた課題や要望について都度検討を進め、情報共有を徹底してまいります。

保育士等の負担軽減を図るため、周辺業務を行う用務員を今年度1名増員しました。また年度途中より保育補助者を2名雇用しました。保育士等の負担の平準化への対応については、配置基準をもとに、計画的な採用を進めてまいります。また年度途中の不足に対しては随時会計年度任用職員の募集を行い、適正な勤務体制の構築ができるよう、努力してまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,588,479,000	1,859,735,094	1,851,637,249	8,097,845	40.4	99.6

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,380,780,000	4,433,602,593	3,947,177,407	52.9

### 4 ファミリー・サポート・センター事業登録会員数(令和5年10月31日現在)

(単位:人)

委託会員	受託会員	委託・受託会員	計
412	186	24	622

### 5 要保護児童の施設収容状況

(単位:人)

区 分	児童養護 施設	児童自立 支援施設	乳児院	里親委託	児童心理 治療施設	知的障害児 施設	計
令和5年11月1日現在	13	1	2	7	2	8	33
令和4年11月1日現在	15	1	3	5	3	8	35
比較増減	△ 2	0	△ 1	2	△ 1	0	△ 2

### 6 家庭児童相談の状況

(単位:件)

区 分	性格 生活 習慣等	知能 言語	学校 生活等	非行	家族 関係	心身 障害	環境 福祉	その他	計
令和5年11月1日現在	109	26	1,356	78	1,130	245	594	164	3,702
令和4年11月1日現在	151	21	1,240	47	1,478	253	1,177	276	4,643
比較増減	△ 42	5	116	31	△ 348	△ 8	△ 583	△ 112	△ 941

### 7 要望事項等

児童館に地域子育て支援センター等の子育てに関する機能が集約整備されたことにより、各機能の協力体制が築かれて、利便性が向上しています。今後も、集約化されている各機能の職員が連携し合って対応し、各機関が活発に活用されるよう努められたい。  
また、児童館に有事の場合に備えて「さすまた」が置いてあるとのことなので、日常的に訓練し危険に対応できるよう努められたい。



## 8 保育園

(1) 定員、実人数及び職員の配置状況（令和5年11月1日現在）

（単位：人）

保 育 園	定 員	実人数	職 員 数							備 考
			園 長	保 育 士		看 護 師	調 理 師		計	
				正 規	会 計 年 度 任 用 職 員	会 計 年 度 任 用 職 員	正 規	会 計 年 度 任 用 職 員		
富 士 根	120	125	1	11	14	0	1	3	30	育児休業中5
大 岩 明 倫	90	95	1	10	10	0	1	3	25	育児休業中2
大 富 士	90	76	1	8	11	0	1	3	24	育児休業中1・特別休暇中1
北 山	90	66	1	7	8	0	1	3	20	育児休業中1
上 井 出	90	33	1	6	2	0	0	2	11	育児休業中3
白 糸	60	24	1	4	2	0	0	2	9	育児休業中1
山 宮	90	74	1	7	5	0	0	4	17	育児休業中1
大 宮	150	130	1	13	18	2	1	4	39	育児休業中2
井 之 頭	45	19	1	4	2	0	0	2	9	
西	120	73	1	8	12	0	0	4	25	育児休業中2
明 星	90	68	1	7	8	0	1	3	20	産前休暇中1・産後休暇中1
栗 倉	90	75	1	7	8	0	1	3	20	産前休暇中1
柚 野	90	19	1	4	1	0	0	2	8	育児休業中1
計	1,215	877	13	96	101	2	7	38	257	

(2) 要望事項等

保護者や担任、園長、調理師と常に連携を図り、食物アレルギーの園児などにも配慮し、安全な給食を提供されています。引き続き幼少期に効果がある食育を進めるとともに、好き嫌いなくバランスのとれる食事を提供できるよう努められたい。

また、ヒヤリハット発生状況を報告、共有し、毎朝遊具の点検を行うなど園児が安心して過ごせるよう注意されています。十分な安全対策が行われていても、こどもは一瞬の隙に危険に陥ることがあるので、継続して安全対策に取り組まれるよう要望します。

※定期監査では3園（大富士・北山・山宮）において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

## ◎ 健康増進課

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
保健総務係	2		2	
母子保健係	15	12	27	育児休業中2
健康増進係	15	3	18	育児休業中1
計	33	15	48	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

ヘルパー等を家庭に派遣し、家事及び育児支援、助言並びに指導を行うことは、子育てに対し周囲から援助が得られない世帯の不安や孤立感の解消に有効であり、虐待の予防や早期発見にもつながることから、気軽に利用できる環境づくりの推進を要望します。

#### (2) 処理済の事項

ヘルパー等派遣事業については、母子手帳交付時にチラシを用いて説明、新生児全戸訪問（赤ちゃん訪問）では全産婦に対して導入についての具体的な説明を行っています。

また、健康相談や各種事業で直接母子と関わる中で、必要性を感じる方に対して、支援の一つとして導入を勧めています。

今年、4年ぶりに実施した「健康まつり」の会場では、サービス提供事業所が「ヘルパー等派遣事業」のPR、実際に利用した「利用者の声」を掲示し、来場者にPRを行いました。

今年度の現時点での実績は48件で、昨年同時期40件に対して増加の傾向にあります。

今後も、育児・家事負担が虐待につながらないように、軽減のためのこの事業の周知を徹底していきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
709,204,000	158,318,966	122,183,216	36,135,750	17.2	77.2

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,749,159,000	645,412,735	1,103,746,265	36.9

(2) 介護保険事業特別会計

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,311,000	1,999,823	6,311,177	24.1

4 母子保健法による妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の実施状況 (令和5年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
妊婦健康診査(初回健診の人数)	298	296	99.3
産婦健康診査(1人2回実施)	608	577	94.9
新生児聴覚検査	305	285	93.4
4か月児健康診査	329	314	95.4
10か月児健康診査	355	345	97.2
1歳6か月児健康診査	409	408	99.8
2歳児歯科健康診査	417	384	92.1
3歳児健康診査	423	409	96.7

5 健康増進法による健康診査の実施状況 (令和5年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
胃がん検診	82,915	3,729	4.5
大腸がん検診	82,915	6,134	7.4
前立腺がん検診	30,437	2,453	8.1
胸部検診 (肺がん・結核)	82,915	12,329	14.9
乳がん検診	43,134	1,494	3.5
子宮頸がん検診	54,738	1,527	2.8
肝炎ウイルス検診	10,436	550	5.3
骨粗しょう症検診	2,973	197	6.6
歯周疾患検診	2,469	95	3.8
健康診査(被保護者)	548	13	2.4
計	393,480	28,521	7.2

6 要望事項等

母子健康教育・健康相談業務(養育支援ヘルパー等派遣)について、多くの事業者と委託契約し、必要な支援が受けられる環境が整っており、利用者からは利用価値があるとの意見が寄せられています。その一方で、当事者の意識改革により利用度を向上させることが課題となっているため、実際に利用した人の声をイベント等の場で伝えるなど、引き続き事業の周知を図り、利用率の向上につなげることを要望します。

## ◇ 都 市 整 備 部

### ◎ 管 理 課

#### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	水道部参事を兼務
技 監	1		1	
課 長	1		1	
管 理 係	5		5	
公共用地係	5	1	6	
国土調査係	4	2	6	
計	17	3	20	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

関連部署と合同パトロールを実施し、違法な盛土の把握に努めています。パトロールの実施は、違反相手を牽制し土砂搬入の抑止力となる効果が期待できることから、引き続き関係機関等と情報共有を図り定期的なパトロールの実施を要望します。

##### (2) 処理済の事項

6月に「盛土等の法令違反に係る連携調整会議」を開催し、富士宮警察署や関係部署との情報共有を図りました。

また、関係部署とは合同パトロールを2か月に一度実施し、それ以外の月は、各部署、担当個所を決めパトロールを実施しております。違反等の通報に対しては、関係部署と協議を行い対応をしております。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
67,922,000	56,239,851	55,975,839	264,012	82.4	99.5

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
228,977,000	114,404,713	114,572,287	50.0

4 道路及び河川の占用料収入状況(令和6年1月4日現在)

(単位:円・件・%)

区 分	調 定 額		収 入 済 額		収 入 率	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
道路占用	46,934,999	4,097	46,896,917	4,039	99.9	98.6
河川占用	9,083,272	1,457	8,865,572	1,405	97.6	96.4
計	56,018,271	5,554	55,762,489	5,444	99.5	98.0

5 地籍調査の状況(令和6年1月4日現在)

(単位:km<sup>2</sup>・%)

調査対象区域面積 A	調査済面積 B	実施率 B/A	調 査 実 施 地 区
317.93	76.41	24.03	麓・根原・杉田・人穴・猪之頭・ 上井出・外神・青木・宮原・淀師・ 淀平町・万野原新田・粟倉・村山・ 山宮・大岩・小泉の各一部 長貫・大久保・西山・上稲子・羽鮒

6 要望事項等

淀師・淀平地区の地籍調査において、現在筆界未定区域はなく、土地の権利者に丁寧に説明が行われ、理解が得られている状況です。地籍調査の目的は、筆界を明確に確定して個人の財産を特定することであるため、丁寧な説明による対応を要望します。

また、道路及び河川の占用について、実際の使用状況を現地確認しておく必要があることも要望します。

## ◎ 道 路 課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
建 設 係	6	2	8	病気休暇中1
維 持 係	6		6	病気休暇中1
調 査 修 繕 係	3	1	4	
計	16	3	19	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕、道路の改良及び補修工事等、市民生活を支える重要な基盤の維持管理業務を実施していますが、市民生活に影響が出る工事については、地域住民に対し工事の進捗状況及び通行に関する情報提供を行い、安全に配慮しながら工事を実施するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

市民生活に影響の出る公共工事については、回覧文書や規制予告看板の早期設置による周知を行いました。また、アパート住民など地元自治会に属していない方もいることから、個別に文書投函するなど配慮いたしました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

通行止めで工事を実施し、一時御不便をお掛けするものの早期に完了するか、完了時期が遅くなくても通行開放しながら工事を実施するか、現場状況と周辺の道路環境を考えながら、地域住民にとって何が最も良い選択か考えながら公共工事を進めてまいります。

### 3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
316,039,000	11,519,449	11,519,449	0	3.6	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,484,369,000	752,586,854	731,782,146	50.7

#### 4 道路パトロールの状況

	区 分	令和5年12月31日 現在	令和4年12月31日 現在	前年度実績
道路補修作業	路面舗装穴埋 (箇所)	1,525	1,200	1,604
	路面路肩段差補修 (箇所)	871	1,621	2,414
	路面陥没補修 (箇所)	13	23	34
	アスカーブ設置 (m)	3	23	39
側溝清掃・修理	側溝または暗渠清掃・土砂片付け (箇所)	28	24	39
	グレーチング修理 (枚)	87	173	215
	側溝蓋騒音防止・架け替え (枚)	110	177	187
パトロール	道路確認等走行距離 (km)	17,651	16,260	21,373
	要望等箇所調査 (箇所)	0	0	0
その他	袋詰めアスファルト合材使用数 (袋)	1,230	1,722	2,366
	土嚢作成 (袋)	0	0	0
	土嚢運搬・設置 (袋)	0	0	0
	凍結防止塩化カルシウム配布 (袋)	0	0	3
	凍結注意看板設置・撤去 (枚)	0	0	0
	カーブミラー等修正 (枚)	35	34	55
	草刈り・街路樹剪定 (路線)	35	40	43
	デリネーター等設置・撤去 (本)	5	12	17

#### 5 要望事項等

市内の橋りょうについて、長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修工事が進められています。災害時にも安全に使用できる道路をどのように確保するのが最重要課題となります。能登の地震を目の当たりにして、有事の際に求められるものは何かを関係部署と横断的に検討していくよう要望します。

また、孤立しそうな地区についての情報収集と対応策についても日頃から検討しておくことを要望します。

## ◎ 河川課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	下水道課参事を併任
計 画 係	3	1	4	環境企画課環境エネルギー室 主任主査を兼務1
工 事 係	5	1	6	下水道課 主幹を併任1 技師を併任1
計	9	2	11	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

現在実施中の水門調査は、水門の現状把握と水害対策に有効であり、今後の水門の在り方を地元住民と協議、検討する上でも有用な資料となることから、引き続き調査を実施し、その結果を今後の治水対策に活用するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

現在実施中であります水門調査につきましては、国土交通省におきましても「河川用ゲート設備点検・整備・更新マニュアル(案)」というマニュアルを整備し、日常的な点検等の重要性について述べており、継続して実施しているところです。調査した水門については、現在管理課にて管理されている河川台帳に適宜反映させることにより、現状の把握、水害対策という点において有効に活用しているところです。

水門の在り方につきましては、地元の方とコンセンサスを得るための重要な資料として、資料収集はもとより、河川台帳への反映を適切に行い引き続き調査していきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし



### 3 予算の執行状況（令和6年1月4日現在）

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
65,941,000	10,236,608	1,236,608	9,000,000	1.9	12.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
623,294,000	245,642,937	377,651,063	39.4

### 4 要望事項等

水門調査によって得られた結果を河川台帳へ反映させることにより、現状把握、水害対策という点で有効に活用されています。従来の農業中心の生活様式から、現在では生活様式が変わり、水門に対する認識が薄れてきていることが考えられます。については、河川の整備状況などについて地域住民と共に検討の機会をもてるよう要望します。

## ◎ 都市計画課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
計 画 係	4	1	5	静岡県から派遣1 育児休業中1
土地対策係	7		7	
景 観 係	3	1	4	
課 付	1		1	静岡県へ派遣1
計	16	2	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

災害に対応した都市づくりのための基礎調査を実施し、防災上の課題整理を行っていますが、全国で大雨等による自然災害が多発していることから、被害を最小限に抑え、災害に強いまちづくりを行うためにも、関連部署と情報共有を行い、抽出された課題の解決に向けた取組を実施するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

富士宮市都市計画マスタープラン策定等委員会により関連部署と情報共有を行い、他計画との調整や課題整理を実施しております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

令和5年度に実施している他計画との調整や課題整理を基に、令和6年度に防災都市づくり計画を策定する予定です。

### 3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
7,121,000	5,917,440	6,176,400	△ 258,960	86.7	104.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
121,972,000	87,083,561	34,888,439	71.4

## 4 都市計画法等による許可申請の状況(令和6年1月9日現在)

(単位：件)

区 分	受付件数	備 考
開発行為許可申請	10	うち変更許可 1件
建築行為許可申請	59	
60 条 申 請	27	うち一括交付 3件
計	96	

## 5 要望事項等

防災都市づくり検討業務において、市として一つにまとめた基礎資料の作成や、事前復興計画の策定が進められています。災害に備えることはもちろんのこと、その後の復興対策は、想定外のことが発生することもあり、予想より長いスパンでの対応が考えられます。想定される被災状況の影響を鑑み、基礎情報を十分に収集し、防災都市づくりの位置づけを高めていくよう要望します。

## ◎ 都市整備課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市街地整備係	4		4	
街路整備係	5		5	
計	10	0	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

都市計画道路田中青木線の整備について、用地取得、交渉が順調に進んでいます。早期に工事着手できるように、地権者に引き続き丁寧な事業説明を行い用地取得に向けた交渉を行うよう要望します。

また、富士宮駅前広場等の整備事業は、改修工事に向け課題を解決しながら着実に進めています。今後の施工計画については、早めの周知を行うなど利用者及び事業者へ配慮し、丁寧な説明を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

都市計画道路田中青木線の用地取得については、土地開発公社を活用し2地権者と契約しました。

富士宮駅前広場等の整備事業については、8月の地質調査施工時に、バス会社、タクシー会社及び周辺住民に施工内容について直接周知を行い、ペDESTリアンデッキの耐震補強工事と、エレベーター設置工事の詳細設計が完了したため、現在入札準備を進めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

都市計画道路田中青木線の用地取得については、引き続き丁寧な説明を行い事業用地確保に向けた交渉を進めていきます。

富士宮駅前広場等の整備事業については、繰越予算で工事に着手していくため、工事受注者の具体的な作業計画及び通行規制について早めの周知を行い、利用者及び事業者へ配慮した丁寧な説明を行ってまいります。

### 3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
212,737,000	1,242,098	1,242,098	0	0.6	100.0

## (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
466,760,000	178,816,760	287,943,240	38.3

## 4 要望事項等

富士宮駅前広場等の整備事業は、ペDESTロリアンデッキの耐震補強やトイレの新設、エレベーター設置等の改修工事に向け順調に進められています。利用者が多いことから、安全管理を徹底の上、引き続き事業者と協議を重ねながら進めていくよう要望します。

源道寺駅前トイレ清掃管理業務については、区が管理しており、不特定多数の人が利用することにより、負担が大きいと思われまふ。区からの意見を尊重の上、受託を継続してもらふと共に、利用者に対しても、区の方が整備を担っていることを周知し、適正な利用の呼びかけを行うことを要望します。

## ◎公共建築課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
建 築 企 画 係	3		3	
建 築 工 事 係	7		7	
設 備 工 事 係	4		4	病院管理課 用度施設係技師が併任1
計	15	0	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

公共施設等総合管理計画など公共施設に関する諸計画の策定が完了したことに伴い、今後は計画に基づいた施設管理が望まれます。今後改築予定の施設については、人口動態及び市民の利便性を考慮しつつ、将来の財政負担の軽減を図るため適正な施設規模となるよう、引き続き事前協議制度の活用を要望します。

#### (2) 処理済の事項

事前協議制度の導入により、公共施設の適正規模・配置に向けた全庁的な取組体制が整い、具体的な再編案件が発生した際の適正な対応が可能となりました。

今年度は、2施設の改築案件について、事前協議制度による協議を施設所管課と実施しました。

今後も、積極的に事前協議制度を活用し、施設所管課と連携を図りながら公共施設等総合管理計画・公共施設再編計画に基づいた適切な公共施設整備に努めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
121,522,000	89,987,099	31,534,901	74.1

### 4 要望事項等

事前協議制度を活用し、施設の集約化や多機能化等の取組を行い、計画に基づいた適切な施設整備を進めています。公共施設については地区の人口等により目的や活用方法が変化するという課題が出てくると思いますが、事前協議を的確に行い、施設の機能が効率的に活用できるよう要望します。

## ◎ 建築住宅課

### 1 職員の配置状況(令和6年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
住宅管理係	5		5	
建築指導係	5		5	
審 査 係	4		4	
計	15	0	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

TOUKAI-0事業においては、木造住宅耐震補強事業ほか各種補助事業を実施していますが、制度の活用がより一層進むよう周知に努めるとともに、市民に対し丁寧な説明を心掛けるよう要望します。また、県と共催している空き家に関する相談会及び出前講座は、空き家の適正管理、課題解決に有効なため、県と連携し事業の充実を図り継続して実施するよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

TOUKAI-0事業においては、活用がより一層進むように静岡県下一斉に、タレントを起用した無料耐震診断のテレビCMを放送しました。市でも、デジタルサイネージを利用してイオンモール富士宮、庁舎内でも宣伝を行うとともに、ダイレクトメールや個別ポスティングを実施しています。

空き家に関する相談会及び出前講座については、今年度も県と連携して実施しました。今後も、空き家の適正な管理や課題解決の促進に向けた取組を継続してまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和6年1月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
434,859,000	144,402,028	106,531,878	0	37,870,150	24.5	73.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
451,117,000	209,517,930	241,599,070	46.4

4 市営住宅の状況

(単位:戸・%)

区 分	管理戸数 A	入居戸数 B	入居率 B/A
令和5年12月31日現在	780	537	68.8
令和4年12月31日現在	735	509	69.2
比較増減	45	28	—

5 市全体の確認件数(令和6年1月5日現在)

(単位:件)

住 宅 共同住宅	併用住宅	工 場	そ の 他 計 画 通 知	工 作 物 昇 降 機	計
376	4	8	30	8	426

(注) 指定確認検査機関で確認した件数を含む。

6 市で処理した確認・検査件数(令和6年1月5日現在)

(単位:件・円)

確認申請	計 画 変 更	中 間 検 査	完 了 検 査	計	手数料
9	2	4	8	23	164,000



7 建築基準法等に規定する許可、認定、指定及び報告の件数（令和6年1月5日現在）（単位：件）

許可	認定、承認等	指定（法第42条関係）			報告（法第12条関係）		
		第1項第4号	第1項第5号	第2項	第1項	第3項	第5項
8	6	1	5	1	51	356	1
( 9 )	( 5 )	( 0 )	( 5 )	( 0 )	( 86 )	( 345 )	( 3 )

（注）下欄（ ）は、前年度同期

8 長期優良住宅建築等計画認定件数（令和6年1月5日現在）（単位：件・円）

件数	手数料
153	2,280,000
( 157 )	( 2,334,000 )

（注）下欄（ ）は、前年度同期

9 低炭素建築物新築等計画認定件数（令和6年1月5日現在）（単位：件・円）

件数	手数料
4	20,000
( 16 )	( 78,000 )

（注）下欄（ ）は、前年度同期

10 要望事項等

市営万野住宅建替事業が進められており、万野住宅全体の完成に目途が立ちました。今後の市営住宅のあり方としては、人口減少と住宅の供給のバランスを課題と捉え、入居者の世帯別、年齢別等の国の統計資料等を参考にするなど需要見込みの積算を的確に行い、様々な問題を整理して今後の計画を進めていくことを要望します。

## ◇ 水 道 部

### ◎ 水道業務課・水道工務課

#### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

##### (1) 水道業務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
庶 務 係	4	1	5	育児休業中1
営 業 係	2	1	3	病気休暇中1
計	8	2	10	

##### (2) 水道工務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
工 務 係	7		7	
管 理 係	5	1	6	
給 水 係	6	1	7	
計	19	2	21	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

水道料金等の徴収業務は、プロポーザル方式により前回と同じ業者へ業務委託を行っていますが、受託者の業務状況を常に把握し、受託者と連携しながら業務に当たられるよう要望します。また、燃料価格及び物価高騰による支出への影響が懸念されるため、なお一層の経費削減に努めるとともに、導入が予定されているインボイス制度開始に伴う経営環境の変化に対応できるように準備することを要望します。

##### (2) 処理済の事項

水道料金等の徴収業務を委託している業者とは同じ執務室で業務を行っており、委託業務の実施状況についても把握しております。また定例打合せを実施するなど連携を密にし、収納率向上のため業務を行っております。

燃料価格及び物価高騰による支出への影響に対応するため、予算の執行状況を確認しながら経費削減が可能かを常に検討し、引き続き効率的な経営を行ってまいります。

公営企業会計システム及び水道料金等徴収システムではインボイスへの対応改修を9月末までに完了し、10月から本格運用をしております。今後も決算に誤りが生じないように、慎重に処理を行ってまいります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況

(1) 一般会計(令和5年12月6日現在)

① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
14,055,000	5,991,000	8,064,000	42.6

(2) 水道事業会計(令和5年11月30日現在)

① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,021,307,000	1,238,785,850	1,031,762,814	207,023,036	51.0	83.3

② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,952,820,000	658,282,575	1,294,537,425	33.7

③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
349,788,000	32,747,000	30,360,000	2,387,000	8.7	92.7

④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,581,186,000	1,111,833,575	469,352,425	70.3

#### 4 業務の状況

区 分	単位	令和5年9月30日現在	令和4年9月30日現在	比較増減
行政区域内人口	A 人	128,361	129,622	△ 1,261
計画給水人口	B 人	129,100	129,100	0
給水人口	C 人	122,268	123,529	△ 1,261
行政区域内普及率	C/A %	95.3	95.3	0.0 ポイント
計画給水普及率	C/B %	94.7	95.7	△ 1.0 ポイント
給水戸数	戸	56,455	56,013	442
総配水量(183日分)	D m <sup>3</sup>	9,644,359	9,731,369	△ 87,010
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	52,701	53,177	△ 476
給水量(183日分)	E m <sup>3</sup>	8,008,672	8,048,181	△ 39,509
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	43,763	43,979	△ 216
有収率	E/D %	83.0	82.7	0.3 ポイント

#### 5 要望事項等

水道料金等の徴収業務を行っている委託業者とは、定例的に打ち合わせを行うなど密に情報共有を図って収納率の向上につなげています。時にはお客様との認識の相違が発生するケースもあると思いますが、引き続き親切、丁寧な対応を心掛け、常に説明責任を果たすよう努められたい。

## ◎ 下水道課

### 1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
所長	1		1	生活排水処理センター所長
業務係	5	1	6	病気休暇中1
排水設備係	4	2	6	
建設係	5	1	6	育児休業中1 病気休暇中1
生活排水処理センター	4	1	5	育児休業中1
課付	4		4	都市整備部長が併任 河川課 課長が併任 工事係主幹が併任1 工事係技師が併任1
計	24	5	29	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

燃料価格、物価高騰が支出に影響を与えており、経費削減のためにも常にコスト意識を持った経営目標を設定し、合わせて収益確保のため下水道供用開始区域内の水洗化率の向上に努めるよう要望します。

また、令和5年度は星山浄化センターと衛生プラントの共同処理に向けた実証実験を行います。今後の共同化に向けた基礎資料となることから、事業が適切に執行されるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

物価等の高騰による経営への影響を意識し、収益確保と公共水域保全のため下水道への接続促進の広報及び個別訪問を行っています。

また、共同処理に向けた実証実験につきましては、星山浄化センターの汚泥脱水機修繕のため延期し、令和5年度冬季と令和6年度夏季に行う計画に変更いたしました。今後の法手続等につきましては、県・市関係部署と協議を進めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

共同処理に向けた実証実験につきましては、星山浄化センターの汚泥脱水機修繕のため、令和5年度冬季と令和6年度夏季に行います。

### 3 予算の執行状況

#### (1) 一般会計(令和5年12月6日現在)

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
27,206,000	77,000	77,000	0	0.3	100.0

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
286,278,000	118,859,642	167,418,358	41.5

#### (2) 下水道事業会(令和5年11月30日現在)

##### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
2,172,650,000	936,510,713	789,856,067	146,654,646	36.4	84.3

##### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,945,186,000	527,225,001	1,417,960,999	27.1

##### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
999,218,000	99,116,078	97,890,018	1,226,060	9.8	98.8

##### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,802,747,000	1,131,843,453	670,903,547	62.8

#### 4 業務の状況

区 分		単位	令和5年11月30日現在	令和4年11月30日現在	比較増減
認可区域面積		A ha	1,816.80	1,816.80	0
供用開始区域面積		B ha	1,506.91	1,502.31	4.60
面整備率		B/A %	82.94	82.69	0.25 ㊦
供 用 開 始 区 域 内	戸 数	C 戸	32,583	32,286	297
	水洗化戸数	D 戸	27,786	27,503	283
	未水洗化戸数	C-D 戸	4,797	4,783	14
	うち法定期限到来戸数	戸	3,016	3,011	5
	人 口	E 人	69,778	70,357	△ 579
	水洗化人口	F 人	61,739	61,946	△ 207
	水洗化率	F/E %	88.48	88.05	0.43 ㊦
融資件数(累計)		G 件	1,033	1,033	0
利用率		G/D %	3.72	3.76	△ 0.04 ㊦

#### 5 要望事項等

経費節減や搬出量の削減を図ることを目的として、星山浄化センターと衛生プラントの共同処理に向けた実証実験が進められています。経費の節約と汚泥排出量の削減について、実現化に向けた具体的な目標値をしっかりと定めて事業を行うよう要望します。

## ◇ 危 機 管 理 局

### 1 職員の配置状況(令和5年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
危 機 管 理 監	1		1	
危 機 管 理 局 長	1		1	
危 機 管 理 担 当	5		5	警防救急課 消防司令補が併任1 消防士長が併任1
計	7	0	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

全国で自然災害が多発していますが、災害対応において初期段階の被害情報把握及び情報伝達が重要となることから、関連部署と連携に努め、十分な機能を発揮できるような体制の整備を要望します。

#### (2) 処理済の事項

9月1日に行いました災害対策本部運営訓練において、大規模災害に対する的確な対応を確立するため、図上シミュレーション型の防災訓練を実施し、職員災害時行動マニュアル及び富士宮市災害対策本部事務分掌等についての検証を行い、関連部署との連携に努めました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年10月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
76,754,000	1,248,800	1,248,800	0	1.6	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
174,044,000	48,888,417	125,155,583	28.1



## 4 自主防災会訓練（総合防災訓練）

（単位：地区・人）

年 度		令和5年度	令和4年度	比較増減
当日	実施地区	110	105	5
	参加人数	24,158	15,163	8,995
当日以外	実施地区	12	10	2
	参加人数	1,374	413	961
計	実施地区	122	115	7
	参加人数	25,532	15,576	9,956

令和4年度の総合防災訓練は、密を避けた訓練を推奨し、新型コロナウイルスの感染対策に配慮した訓練を企画しましたが、令和5年度の総合防災訓練は、制限等設けずに熱中症対策及び感染症対策に配慮した訓練を企画しました。

## 5 要望事項等

9月1日に行った災害対策本部運営訓練では、防災システムが電子化された図上シミュレーション型の訓練が行われています。災害は、急速に広がり大規模化していくため、電子システムの活用によって災害現場の確認や情報の整理が迅速に対応できるよう、また、訓練後の検証事項が有事の際に役立つように日頃からの準備に努められたい。

◇ 市 立 病 院

1 職員の配置状況(令和5年12月1日現在)

区 分				職 員	会計年度任用職員	区 分				職 員	会計年度任用職員		
診 療 部	院 長			1		看 護 部	部 長			1			
	副 院 長			1			副 看 護 部 長			1			
	部 長			3			看 護 師 長			14			
	科 長			27			助 産 師			12	2		
	医 長			12			看 護 師			269	29		
	医 師			26			介 護 福 祉 士				1		
小 計			70	0	用 務 員				49				
診 療 技 術 部	部 長			1		事 務 員				1			
	臨 床 検 査 科	科 長			1		小 計			297	82		
		血 液 検 査 係			7		医 療 安 全 管 理 室	室 長 ※2			(1)		
		一 般 検 体 検 査 係			4	1		看 護 師			1		
		病 理 検 査 係			3	1		室 員				1	
	生 理 検 査 係			6	1	小 計			1	1			
	中 央 放 射 線 科	科 長			1		地 域 医 療 連 携 室	室 長 ※2			(1)		
		X線撮影検査係			5			看 護 師 長			1		
		コンピューター 断層検査係			4			看 護 師			5	1	
		核 治 療 検 査 係			4			社 会 福 祉 士			4		
		画 像 特 殊 検 査 係			4			室 員			1	2	
	小 計					小 計			11	3			
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	科 長			1		診 療 情 報 管 理 室	室 長 ※3			(1)		
		呼吸リハビリテー ション係			11			室 長 補 佐 ※4			(1)		
		運動器リハビリ テーション係			6	1		室 員			1	6	
		神経リハビリテー ション係			11			小 計			1	6	
		地域リハビリテー ション係			1			室 長 ※5			(1)		
	視 能 訓 練 係			4		感 染 対 策 室	看 護 師			1			
栄 養 科	科 長 ※1			(1)			室 員				1		
	栄 養 管 理 係			3			小 計			1	1		
	給 食 委 託 係			1		部 長			1				
臨 床 工 学 科	科 長			1		事 務 部	課 長			1			
	血 液 浄 化 関 連 係			3			病 院 管 理 課	病 院 経 営 室 室 長			1		
	中 央 機 器 管 理 係			4				病 院 管 理 係			6	12	
	小 計			86	4			用 度 施 設 係			6	4	
病 院 経 営 室			2		課 長			1					
薬 剂 部	部 長			1		医 事 課	医 事 係			3	10		
	薬 剂 科	科 長			1			情 報 シ ス テ ム 係			2		
		薬 品 管 理 係			3		2	小 計			23	26	
		化 学 療 法 係			3			合 計			642	512	130
		調 剤 製 剤 係			4		1	※ 1 診療技術部部长が兼務					
		病 棟 業 務 係			10		2	※ 2 診療部部长が兼務					
科 付 け				2	※ 3 副院長が兼務								
小 計			22	7	※ 4 医事課長が兼務								
診療技術部			育児休業中2		※ 5 院長が兼務								
看護部			自己啓発等休業中1、育児休業中22										
事務部			公共建築課設備工事係技師を兼務1										

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

感染症の影響を受けながらも、医師確保の効果により医業収益は増加していますが、施設設備の長寿命化工事、医療機器の導入及び更新を進めており、また、燃料費、材料費等の価格高騰の影響により支出の増加が予想されます。病院経営の健全化を図るため、引き続き、医師確保と経費削減に向けた取組を要望します。

### (2) 処理済の事項

医師の確保については、昨年度より、引き続き、医科系大学への働きかけ、紹介業者による医師の募集を実施して、医師の確保に努めております。

経費の削減においては、契約手法の工夫、業者選定方法の見直し、価格交渉、節電等の取組により、経費の削減を達成しております。

### (3) 未処理事項の処理予定

現在、不足している呼吸器系内科の医師の確保を中心に更なる医師確保に努めていきたいと考えております。

## 3 予算の執行状況(令和5年11月30日現在)

### (1) 病院事業会計

#### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
10,837,890,000	7,587,333,555	6,168,413,662	1,418,919,893	56.9	81.3

#### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
11,448,274,000	6,466,016,383	4,982,257,617	56.5

#### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
453,560,000	189,005,000	189,005,000	0	41.7	100.0

#### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
709,200,000	340,075,744	369,124,256	48.0

## 4 診療科別入院・外来患者数

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	令和5年 11月30日現在	令和4年 11月30日現在	比較増減	令和5年 11月30日現在	令和4年 11月30日現在	比較増減
内 科	17,885	20,130	△ 2,245	21,730	26,196	△ 4,466
循環器内科	6,386	5,893	493	5,400	5,490	△ 90
小 児 科	1,677	1,499	178	8,259	7,964	295
外 科	7,206	7,157	49	6,904	6,866	38
整形外科	11,091	9,894	1,197	6,613	6,140	473
脳神経外科	4,038	3,910	128	1,073	1,141	△ 68
皮 膚 科	1,002	563	439	7,350	7,176	174
泌尿器科	1,823	1,647	176	4,265	4,431	△ 166
産婦人科	4,637	5,383	△ 746	9,307	10,238	△ 931
眼 科	2,040	2,136	△ 96	7,941	8,457	△ 516
耳鼻咽喉科	1,368	1,236	132	5,468	5,596	△ 128
放射線科	0	0	0	2,633	1,928	705
麻 酔 科	0	0	0	3	5	△ 2
計	59,153	59,448	△ 295	86,946	91,628	△ 4,682

## 5 要望事項等

継続的に医科系大学へ働きかけを行うなど医師の確保に積極的に努められております。その一方で、今年度から医師の働き方改革の取組が始まり、医師の労働環境の改善を喫緊の課題として捉え、紹介業者による医師派遣等を充分活用して、引き続き医師確保に努めるよう要望します。

また、未収金については、以前と比較してかなり減ってきているものの無くならないのが現状となっております。支払いが発生した後、なるべく時間が経過しないうちに対応することに成果がみられることから、早期の対応を心がけるよう要望します。

## ◇ 会 計 管 理 局

### 1 職員の配置状況(令和5年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
会計管理者兼局長	1		1	
審 査 係	5	1	6	
計	6	1	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

資金管理は、資金不足にならないよう注視し、常に正確な資金計画が実行されるよう各課に対し指導を行うことを要望します。また、人事異動で担当者が交代する場合や会計処理繁忙期におけるリスク軽減と的確な会計事務を実行するために、引き続き定期的に研修・指導を行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

資金管理については、資金計画書提出の徹底を促す旨の全課宛通知をし、日々、資金不足にならないよう注視しています。

会計処理については、年末、年度替及び出納整理期間等の会計処理繁忙期に、注意喚起（特に、金額誤り、相手方誤り及び伝票提出漏れが無いこと）を促す旨の全課宛通知をし、的確な会計処理が行われるよう継続的な取組を行っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
542,000	303,270	303,270	0	56.0	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
7,943,000	4,302,978	3,640,022	54.2

#### 4 基金及び出資金等の保管状況（令和5年10月31日現在）

基金	金額（円）	出資金・出捐金等	金額（円）
財政調整基金	5,957,248,464	県農業近代化資金出資金	890,000
学校施設整備基金	1,716,177,655	富士宮市土地開発公社出資金	5,000,000
社会福祉施設整備基金	191,391,722	県漁業信用基金協会出資金	7,000,000
山下サダ育英奨学基金	17,994,416	(社) 県家畜畜産物衛生指導協会出資金	440,000
土地取得基金	570,974,554	県農業信用基金協会出資金	1,700,000
水と緑の創生基金	63,568,643	(財) 富士宮市振興公社出資金	11,000,000
減債基金	1,028,436,018	(社) 県緑化推進協会基金出資金	844,000
職員退職手当基金	959,538,868	富士森林組合出資金	650,000
道の駅朝霧高原地域振興施設整備基金	159,045,595	死亡獣畜処理基盤強化基金出資金	8,508,000
観光施設整備基金	5,722,449	富士コミュニティエフエム放送(株)出資金	4,450,000
災害対策基金	304,167,699	地方公共団体金融機構出資金	7,300,000
世界遺産富士山基金	119,587,709	県信用保証協会出捐金	12,503,000
庁舎整備基金	1,049,399,203	(財) 県グリーンバンク出捐金	180,000
職員共済基金	12,020,000	(財) 県勤労者信用基金協会出捐金	8,378,000
池田教育基金	24,000,000	(財) 県文化財団基本財産出捐金	3,487,000
国際交流基金	100,000,000	(財) 砂防フロンティア整備推進機構出捐金	700,000
地域福祉基金	68,721,997	(財) 県腎臓バンク出捐金	1,300,000
農村地域活動支援基金	10,000,000	(財) 県暴力追放運動推進センター出捐金	3,460,000
ふるさと応援基金	1,081,128,802	(財) しずおか健康長寿財団出捐金	1,220,000
森林環境基金	93,275,228	富士宮市救急医療協会出捐金	15,000,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	46,269,000	(社) 静岡県山林協会出捐金	16,179,000
経済変動対策貸付資金利子補給基金	111,073,038	(財) 静岡県障害者スポーツ協会出捐金	865,000
国民健康保険保険給付等支払準備基金	751,665,438		
介護保険給付等支払準備基金	1,097,593,907		
北山財産区基金	631,411,064		
上井出区財産区基金	423,244,000		
猪之頭区財産区基金	100,496,000		
小計	16,694,151,469	小計	111,054,000
合計			16,805,205,469

#### 5 要望事項等

資金管理については、定期的に全部署へ通知を行って、的確な会計処理が行われるよう努められています。特に継続的に発生するものはもとより、突発的なものに対しても随時対応し、人事異動時や繁忙期であっても「報(ほう)・連(れん)・相(そう)」を徹底して誤りのない事務処理を引き続き行っていくよう要望します。

また、小切手の振出しについて、慎重に対応されていますが、桁誤り等に注意し、引き続き厳重な管理をするよう重ねて要望します。

## ◇ 消 防 本 部

1 職員の配置状況（令和5年8月1日現在）

(単位:人)

区 分		職員	計	備 考	
消 防 長		1	1		
消 防 次 長		1	1	予防課長を兼務	
消 防 総 務 課	課 長	1	10	静岡県消防防災航空隊へ派遣1 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練PT 派遣1 消防学校へ入校3	
	総 務 係	4			
	課 付	5			
予 防 課	課 長	(1)	10	消防次長が兼務	
	予 防 審 査 係	4			
	予 防 査 察 係	6			
警 防 救 急 課	課 長	1	19	危機管理局危機管理担当主査を併任2  富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣  富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣7	
	警 防 係	7			
	救 急 管 理 係	3			
	情 報 指 令 室	参事兼情報 指令室長			1
		指 令 係			7
中 央 消 防 署	署 長	1	65		
	副 署 長	2			
	庶 務 係	8			
	予 防 係	8			
	警 防 係	12			
	救 急 係	8			
	芝 川 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
	東 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
西 消 防 署	署 長	1	63	病気休暇中1	
	副 署 長	2			
	庶 務 係	6			
	予 防 係	6			
	警 防 係	6			
	救 急 係	8			
	北 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			20
	上 野 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
合 計		169	169		

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴う救急要請の集中により、救急搬送困難事案が増加しました。緊急性の高い患者搬送に影響を及ぼすことがないように、市民の理解と協力を得るため、救急車の適正利用について、より効果的な広報活動を行うとともに、県に対し、救急安心センターの早期運用開始に向けた働きかけを行うよう要望します。

### (2) 処理済の事項

市民の理解と協力を得るために各種イベント等を通じて救急車の適正利用について、より効果的な広報活動に努めています。

### (3) 未処理事項の処理予定

近年、超高齢社会の影響を受け救急出動件数が増加し、「救急搬送困難事案（救急隊による「医療機関への受入れ照会回数6回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案）」が依然として多い状況です。県も昨年に引き続き、救急安心センター事業（#7119）の具体的な実施に向け検討・調整を実施していますが、早期の運用に向けた働きかけを今後も積極的に呼びかけていきます。

また、医療機関との連携、情報共有の強化を進め、「救急搬送困難事案」の解消に努めていきます。

## 3 予算の執行状況(令和5年8月8日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
217,705,000	1,760,702	1,733,735	26,967	0.8	98.5

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,999,209,000	538,812,366	1,460,396,634	27.0



#### 4 火災発生状況

区 分	単位	令和5年7月31日現在	令和4年7月31日現在	比較増減	
出 火 件 数	建 物	件	8	7	1
	林 野	件	0	0	0
	車 両	件	0	1	△ 1
	そ の 他	件	6	4	2
	計	件	14	12	2
焼 損 棟 数	棟	10	10	0	
建物焼損面積	m <sup>2</sup>	320	1,205	△ 885	
林野焼損面積	a	0	0	0	
死 者	人	0	0	0	
負 傷 者	人	2	0	2	
り 災 世 帯 数	世帯	2	4	△ 2	
り 災 人 員	人	5	12	△ 7	
損 害 額	千円	36,696	25,713	10,983	

#### 5 立入検査等の状況(令和5年7月31日現在)

(単位：件・人)

区 分	件 数	延 人 員
防火対象物	130	315
	(53)	(170)
危険物施設	55	116
	(46)	(97)
計	185	431
	(99)	(267)

(注) 下欄( )は、前年度同期

#### 6 消防車の出動状況(令和5年7月31日現在)

(単位：件・台・人)

出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
239	283	1,004
(252)	(296)	(1,055)

(注) 下欄( )は、前年度同期

7 救急車の出動状況(令和5年7月31日現在) (単位:件・人)

出動件数	搬送件数	搬送人員
2,220 (1,958)	2,004 (1,816)	2,009 (1,831)

(注) 下欄( )は、前年度同期

8 消防団員の状況(令和5年8月1日現在) (単位:人)

区 分		団 員 数	定 数
団 本 部	団 長	1 ( 1 )	33
	副 団 長	4 ( 4 )	
	分 団 長	22 ( 20 )	
	班 長	1 ( 1 )	
	団 員	7 ( 7 )	
	計	35 ( 33 )	
分 団	第1分団～ 第28分団	634 ( 637 )	707
合 計		669 ( 670 )	740

(注) ( )は、前年度同期

9 要望事項等

近年救急出動件数が急増している中で、医療機関と連携し円滑な救急活動が実施できています。一方で、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことによって、人々の行動が活発化し、高齢者が関係する交通事故、緊急を要する怪我や急病が多くなっています。ついては、IT機器を活用するなどさらなる情報共有の強化を図り、救急搬送困難事案の解消に努めていくことを要望します。

## ◇ 教 育 部

### ◎ 教育総務課

#### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
総 務 係	4	3	7	育児休業中1
施設経理係	5	2	7	育児休業中1
計	11	5	16	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

複数の学校の校舎等の改築工事が予定されています。改築工事は長期間掛かることから、学校、保護者、地域住民に対し、工事の進捗状況について情報提供を行い、工事による事故の未然防止に努め、児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう整備されることを要望します。

##### (2) 処理済の事項

改築工事について、芝川中学校校舎改築事業と東小学校管理教室棟等改築事業では、検討委員会（学校、PTA、地域から委員を選出）を設置し、校舎の設計等について検討会を実施しました。また、校舎の大半を改築する芝川中学校については、回覧文書とホームページにより周知活動を行っております。

富士見小学校屋内運動場改築事業と黒田小学校屋内運動場改築事業については、学校、PTAに対し、改築の内容について説明をさせていただいたところです。

今後も進捗状況に合わせて必要と思われる情報提供を行っていきたいと考えております。

改築工事自体も現在、芝川中学校、富士見小学校で実施されておりますが、工事エリアと生活エリアを仮囲いで分けることにより安全を確保するとともに、工事期間でもより良い学習環境が確保できるよう学校関係者や工事関係者と日々確認を行いながら工事を進めているところです。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
986,377,000	185,062	184,714	348	0.0	99.8

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,918,701,000	600,316,076	1,318,384,924	31.3

### 4 要望事項等

児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができるよう、各小中学校施設の改修等整備が進められています。おおよその施設が同時期に建設されていることから、多くの施設において整備が必要な時期を迎えているため、各学校からの要望を確認の上、公共建築課等関連部署と連携して優先順位を見極めて整備を効率よく進められたい。なお、工事作業中には、学校や現場責任者等と連絡を密に行い、児童生徒優先の工事の進め方を確認して、安全管理を徹底するよう要望します。

## ◎ 学 校 教 育 課

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
学 事 係	4	1	5	
教 職 員 係	2		2	
指 導 係	5	9	14	
計	13	10	23	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

導入された1人1台パソコンの活用が進み、児童、生徒の個々の最適な学びに役立っています。1人1台パソコンの導入成果についての確認と検証を確実に行うとともに、各学校の端末利用の現状把握に努め、全ての学校が情報を共有することで、学びの環境が平準化され、児童、生徒がより積極的に学べるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

問題発生時の対応については、ヘルプデスクを設置のほか、学校教育課に対応窓口(担当者)を準備し、対応できるように体制を整えています。また、学校教育課にも管理機を設置し、学校のシステムの様子を確認できる状態にしているところです。

1人1台端末の使用については、ICT活用推進委員会において学校の現状を把握し情報共有を行っており、導入希望のあるソフトウェアや機器などの聞き取りも併せて行い、今後の端末の活用推進にむけて検討を進めています。

また、令和5・6年度は「ICTを活用した『個別最適な学びと協働的な学び』の一体的な充実」をテーマとして市研究指定校を小中1校ずつ設け、1人1台端末の効果的な活用方法及び指導方法の共有化を図っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
28,914,000	8,080,635	8,080,335	300	27.9	100.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
819,144,000	306,598,259	512,545,741	37.4

4 要望事項等

1人1台パソコンの活用が定着して、児童生徒の学びもスキルアップしており、感染症による出席停止時に自宅からのリモート授業参加等が行われるなど、活用が拡大しています。その一方で、情報モラルに沿わない使用は危険性をもたらすことも視野に入れ、各学校において適正な使い方を引き続き指導していくよう要望します。また、それぞれの学校が児童生徒とコミュニケーションをとり、一人一人の状況を把握できるようサポートに努められたい。

## ◎ 社会教育課

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
生涯学習係	6	1	7	富士市から派遣1
家庭・青少年係	4	3	7	育児休業中1
家庭・青少年係 (青少年相談センター)		8	8	
南部公民館		5	5	
富士根北公民館		5	5	
富士根南公民館		6	6	
西公民館		6	6	
芝川公民館		6	6	
柚野公民館		5	5	
上野・北山 地域学習センター		4	4	
白糸・上井出 地域学習センター		2	2	
計	11	51	62	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

青少年相談センターの適応指導教室では、導入された1人1台パソコンを学習や学校との情報交換に活用しています。通級する児童生徒に合った指導を行う上で、今後さらなる活用を図り、学校との連携を強化するよう要望します。また、相談業務は、個人情報等多くの機密事項を取り扱うことから、情報管理は定められた手順にのっとり厳重に行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

1人1台パソコンの活用については、校長会にて、自習教材として、クロームブックを利用する教材を提供していただくことをお願いしました。相談センターに通う子どもたちは、担任の先生をはじめ、学校との情報交換にクロームブックを使う姿も見られます。情報管理については、富士宮市文書取扱規定にのっとり、富士宮市青少年相談センター業務執行マニュアルを作成し、センター職員と再度手順を確認しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

1人1台パソコンの活用について、今後、より学校と相談センターの連携が取れ、子どもたちの自立につながるよう扱い方を検討していきます。

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
5,228,000	1,675,290	1,596,078	79,212	30.5	95.3

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
253,007,000	94,234,859	158,772,141	37.2

### 4 公民館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和5年8月31日現在	令和4年8月31日現在	比 較 増 減
南 部 公 民 館	6,396	6,338	58
富士根北公民館	5,009	4,287	722
富士根南公民館	12,760	10,856	1,904
西 公 民 館	8,777	8,322	455
芝 川 公 民 館	3,600	3,678	△ 78
芝川公民館内房分館	788	696	92
柚 野 公 民 館	2,133	1,904	229
小 計	39,463	36,081	3,382
上野地域学習センター	6,586	6,091	495
北山地域学習センター	2,912	2,465	447
白糸地域学習センター	580	490	90
上井出地域学習センター	522	674	△ 152
小 計	10,600	9,720	880
芝 川 中 学 校	210	263	△ 53
芝川文化ホール	4,528	3,981	547
小 計	4,738	4,244	494
合 計	54,801	50,045	4,756

### 5 要望事項等

読書と読み聞かせ推進事業を進めていく中で、読書会議でも示されているように紙媒体は重みがあり心に残るものであることから、本に加えて紙芝居の活用も含めて、今後も紙媒体の良さや温かさを伝えられるよう努められたい。

また、相談センターではカリキュラムに基づいて、職員が一人一人に合った学習プランを立て、こどもの取組をサポートしています。保護者が相談しやすく、こども達が達成感を見いだせる環境作りを心がけるよう要望します。



## ◎ 文化課

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	教育部参事及び 埋蔵文化財センター所長を兼務
参 事	1		1	市史編さん室長を兼務
埋蔵文化財センター所長	(1)		(1)	文化課長が兼務
市史編さん室長	(1)		(1)	文化課参事が兼務
芸 術 文 化 係	3	1	4	
学 術 文 化 財 係	3	2	5	市史編さん室 主幹を兼務1 学芸員を兼務2
埋蔵文化財センター	3	8	11	市史編さん室 学芸員を兼務3
市 史 編 さん 室	2	1	3	学術文化財係 主幹が兼務1 学芸員が兼務2 埋蔵文化財センター 学芸員が兼務3
計	13	12	25	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

史跡大鹿窪遺跡の整備工事が始まっていますが、貴重な史跡の整備であることから、国、県と連絡を密にし、地域住民にも丁寧な説明を心掛け理解と協力を得ながら整備を進め、整備後の活用について、引き続き検討を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

全体の整備について昨年度、文化庁に説明し、文化庁調査官に整備委員会へ出席いただくとともに、現場確認をしていただきました。また、各年度ごとの整備については、県・国に確認して現状変更の許可をいただきながら進めています。

地域住民にも、工事内容について説明会を開いて進めております。

整備後については、管理と活用について地元の自治会や団体と検討をしております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

整備後の活用について、地域の団体による体験講座などのイベント実施に向けて、地域の方と先進地の視察を行い検討する予定です。

また、管理についても、管理する上での課題などに対応できるような方法を決定していきます。

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
81,094,000	2,107,903	1,807,903	300,000	2.2	85.8

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
553,255,000	127,002,931	426,252,069	23.0

### 4 市民文化会館の利用状況(開館日数148日)(令和5年8月31日現在)

(単位:回・人)

区 分	大ホール	小ホール	展示室	和 室	練習室	計
回 数	58 (61)	82 (66)	221 (216)	100 (85)	455 (479)	916 (907)
人 員	13,652 (8,761)	7,890 (4,229)	13,116 (7,912)	3,444 (487)	8,448 (5,261)	46,550 (26,650)

(注) 下欄( )は、前年度同期

### 5 要望事項等

白糸ノ滝左岸尾根部崖面保護の整備については、今後、観光客等の安全確保を図りながら、史跡の保護を進めていくこととなります。工事の際には観光客への注意喚起を行い、文化財としての価値を高めるための整備を進めるよう努められたい。

また、史跡大鹿窪遺跡の管理運営について、学識経験者、国、県と協議するとともに、地元住民の協力を得ながら、遺跡だけでなく地域にも目を向け、より良い方向に有効活用できるよう要望します。

## ◎ スポーツ振興課

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
施 設 係	2		2	
振 興 係	4	2	6	
計	7	2	9	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

一流アスリートによるスポーツ教室は、選手との交流を通じ、競技への関心や興味の促進、競技力の向上が図られ、次世代を担う子どもたちのかけがえのない財産となることから、様々な競技の一流アスリートが招へいできるよう情報収集に努めることを要望します。

#### (2) 処理済の事項

昨年度は、陸上、ソフトボール、サッカー、相撲の計4競技でしたが、今年度は6競技を実施します。今後、競技数を増やすのか、競技種目を変更するかの課題がありますが、様々な競技で、トップアスリート等を招くことができるよう情報収集し、準備・調整をしております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
19,381,000	8,576,963	8,521,900	55,063	44.0	99.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
429,129,000	164,465,892	264,663,108	38.3

## 4 体育館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和5年8月31日 現在	令和4年8月31日 現在	比 較 増 減
市 民 体 育 館	63,822	60,558	3,264
市 民 プ ー ル	59,674	30,933	28,741
芝川B&G海洋センター	7,781	8,273	△ 492
芝川B&G海洋センター プ ー ル	1,400	632	768
市民テニスコート	34,170	37,546	△ 3,376
外神スポーツ広場	13,845	16,366	△ 2,521
上井出スポーツ広場	2,722	3,118	△ 396
物見山スポーツ広場	3,425	2,984	441
山宮ふじざくら球技場	16,575	13,305	3,270
富士山スタジアム	4,854	4,571	283
芝川スポーツ広場	6,849	7,042	△ 193
計	215,117	185,328	29,789

## 5 要望事項等

トップアスリート等派遣事業について、子どもたちが競技に興味を持てるようになることをすすめています。今後も地域貢献に協力していただける選手を発掘するなど事業が発展していくよう努めるとともに、スポーツで活躍している富士宮市出身の団体や個人等を広報誌に紹介するなど、スポーツを市内に広めるよう努められたい。

なお、市内小中学校の体育館等で使用している備品については、安全面を考慮して使用できないものの更新・廃棄を検討するよう要望します。

## ◎学校給食センター

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	市職員	県職員 (栄養教諭)	市会計年度 任用職員	県会計年度 任用職員 (栄養士)	計	備 考
所 長	1				1	
総 務 係	3		1		4	
-		2		1	3	担当事務内容の一部を 市管理栄養士が担当
計	4	2	1	1	8	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

異物混入の原因となるような危険を未然に防止するため、委託会社と連携し、施設、設備及び器具の日常点検を確実にを行い、引き続き、衛生管理の徹底を図るよう要望します。また、緊急時における連絡体制の確認について、日頃より学校や委託会社と情報共有を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

異物混入の防止については、未然防止対策として、調理員及び配送員の衛生管理の徹底、検収時における物資の状態確認、調理前後の機器の点検等を委託会社が通常の業務として実施し、その実施状況について市側が記録簿等で毎日の確認を行っています。また、講師を招いて、給食受入れパート・学校給食センター従事者を対象とした衛生管理等の研修を毎年実施しています。

令和5年9月には「富士宮市学校給食異物混入対応マニュアル」を作成し、学校及び委託会社に配布しました。これにより、先に挙げた未然防止対策の徹底や、緊急時における連絡体制についての再確認を図っています。

以上のとおり、今後も異物混入の防止について、学校及び委託会社との連携に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
558,472,000	199,669,886	189,304,464	10,365,422	33.9	94.8

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,073,085,000	347,553,429	725,531,571	32.4

### 4 要望事項等

「富士宮の日」及び「ふるさと給食」を月一回実施し、地産地消の推進に努められています。地域限定の食材を使った献立を考え、子どもたちに地域の特色を学習してもらうなど、食を学びの一つとして教えるよう要望します。

また、緊急時における連絡体制について、日頃から学校や委託会社との情報共有を行い、スピード感を持った対応がとれるようにしておくことを要望します。

## ◎ 中央図書館

### 1 職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
中央 図書館	館 長	1		1	
	管 理 係	6	7	13	
	サービ <span>ス</span> 係	5	16	21	
	計	12	23	35	
西 富士 図書館	館 長	1		1	
	図 書 館 職 員	1	4	5	
	計	2	4	6	
芝 川 図書館	館 長	1		1	
	図 書 館 職 員	1	4	5	
	計	2	4	6	
合 計		16	31	47	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

様々な年代の市民が親しめる図書館を目指し、市民のニーズに対応した書籍及び資料の整備並びに各種サービスの充実を図り、図書館の利用促進に努められるよう要望します。また、マイナンバーカードを利用した書籍等の貸出サービスが開始されますが、個人情報の管理についてなお一層の注意を図り、利用する市民に対し丁寧な説明を行うよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

資料の貸出しはもちろんのこと、読書案内をはじめ、調査研究のためのレファレンスサービスの充実に努めています。県内外の図書館とは、協力貸出し、相互貸借を行い、資料を取り寄せるなどをして、利用者のニーズに対応しています。また、各種講座や講演会、主催事業の実施、テーマコーナーなどによる所蔵資料の紹介を行い、利用促進に努めています。

マイナンバーカードにつきましてはマイキープラットフォームに登録したマイキーIDと、図書館利用カード番号の紐づけを行うことで、マイナンバーカードの提示で貸出し手続きができるようになりました。ただし、図書館利用者の個人情報がマイナンバーカードに直接繋がることのないようにしています。また、図書館利用カード番号との紐づけ作業は、利用者と職員が対面で行っています。

(3) 未処理事項の処理予定

令和5年度は中央図書館、西富士図書館で施設改修工事を実施していることから、一部資料や施設の使用ができなくなっており、利用しづらい状況になっています。利用者に周知をするとともに、利用案内を行い、利用の促進に努めます。

3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
67,634,000	112,618	103,246	9,372	0.2	91.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
449,860,000	175,730,487	274,129,513	39.1

4 図書館利用登録数

(単位:人・団体)

区分	令和5年8月31日 現在延登録数	令和5年4月1日から 8月31日までの登録数	令和4年4月1日から 8月31日までの登録数
個人	119,573	829	859
団体	312	159	172



## 5 利用状況（令和5年8月31日現在）

（単位：日・人・冊・回）

区 分	開館(巡回)日数	利用人数	1日当り 利用人数	貸出冊数	1日当り 貸出冊数	備 考
中央図書館	121 ( 120 )	74,724 ( 79,724 )	618 ( 664 )	199,604 ( 218,942 )	1,650 ( 1,825 )	
自動車図書館	116 ( 117 )	11,260 ( 12,194 )	97 ( 104 )	22,259 ( 24,530 )	192 ( 210 )	巡回回数 534 (543)
西富士図書館	121 ( 120 )	11,524 ( 11,784 )	95 ( 98 )	36,263 ( 37,948 )	300 ( 316 )	
芝川図書館	121 ( 121 )	8,680 ( 9,307 )	72 ( 77 )	26,087 ( 27,818 )	216 ( 230 )	
駅前交流 センター	148 ( 148 )	1,373 ( 1,184 )	9 ( 8 )	2,498 ( 2,261 )	17 ( 15 )	
大富士交流 センター	131 ( 130 )	4,630 ( 4,909 )	35 ( 38 )	12,050 ( 13,359 )	92 ( 103 )	
富丘交流 センター	130 ( 131 )	2,098 ( 2,028 )	16 ( 15 )	5,610 ( 5,583 )	43 ( 43 )	
計	—	114,289 ( 121,130 )	—	304,371 ( 330,441 )	—	

（注）下欄（ ）は、前年度同期

## 6 要望事項等

各図書館において、地域性や利用者の状況を鑑み、特徴を活かしたコーナーを工夫して設ける等利用者のサービス向上に努められています。今後も利用者にとって魅力的な企画を前面に出し、利用者増加につながるようなサービスを検討していくよう要望します。

## ◎ 小・中学校

### 1 教職員の配置状況(令和5年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	県 職 員 数		市 職 員 数		計
	正 規	会計年度任用職員	正 規	会計年度任用職員	
小 学 校	440	60	1	122	623
中 学 校	281	38	2	51	372
計	721	98	3	173	995

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

日頃より1人1台パソコンの利用ルールや不審者への対応等、こどもが各種トラブルに巻き込まれないよう保護者、地域と連携しながら指導を行っています。引き続き、こどもたちがトラブルに巻き込まれないよう見守りとサポートを行い、社会のモラルやルールを守ることの大切さを伝えるとともに、こども自身が考え行動できるような指導を要望します。

#### (2) 処理済の事項

##### ① 富士宮市立貴船小学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・「学習用パソコンを使うときの約束」を作成し、こどもと確認するとともに保護者にも配布しています。また、市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉(ルール)を使ってこどもと確認しています。
- ・保護者会や個人面談の際に、利用ルールについて確認しています。
- ・学級活動や道徳科の時間を活用し、情報モラルについてこども自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・社会教育課指導主事に依頼し、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設けています。

#### ○不審者への対応

- ・「子ども安全の日」に、不審者対応についてこどもたちと確認しています。また、教職員が校舎内外を防犯の視点で安全点検し、危険箇所は改善しています。
- ・3年生を対象に県防犯協会主催「あぶトレ!」を実施し、不審者対応を体験的に学ぶ機会を作っています。
- ・下校時には「いかのおすし」の合言葉を使ってこどもたちに指導をしています。
- ・保護者や地域の方の協力を得て、こどもの登下校中の見守りを行っています。
- ・一斉メール等で、不審者対応について知らせ、家庭への啓発を行っています。

##### ② 富士宮市立富丘小学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・市のICT活用推進委員会の「たこのからあげ」(ルール)を使って各学級でこどもとパソコンの有効な利用について確認しています。また、校内でのパソコン利用ルールをこどもたちと確認しています。
- ・4月に保護者に、文面で利用ルールについて確認しました。
- ・道徳科の時間で教科書を活用して主題を「情報モラル」として、多面的・多角的にこども自身が考える機会を設けて、情報モラル意識の向上を図っています。
- ・社会教育課指導主事のような専門家に来校していただき、デジタルタトゥーと言われるSNSに潜む危険性や顔を見ないでコミュニケーションすることによる行き違いから人間関係が壊れていく可能性があることについて具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設けています。

#### ○不審者への対応

- ・「子ども安全の日」に、防犯ブザーの鳴動確認を計画的に行っています。
- ・不審者対応については、集会で生徒指導担当から具体的な場面を説明し、「いかのおすし」を使って子どもたちと確認している。また、教職員が校舎内外、通学路などを防犯の視点で安全点検し、危険箇所は改善しています。
- ・下校時や長期休業前には「いかのおすし」の合言葉を使って子どもたちに指導をしています。
- ・子どもたちの登下校の見守りを交通安全指導と合わせて保護者や地域の方からの協力を得て行っています。
- ・学校だよりや学校からの配信メールにより、不審者対応や不審者情報について知らせ、家庭においても不審者対策への啓発を行っています。

#### ③ 富士宮市立上野小学校

##### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・情報教育担当者が朝礼で「PCやQRコードの管理」について子どもと確認しました。市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を使って子どもと確認しています。
- ・保護者向けのお便りで、「学校内で撮影した子供たちの画像の取扱いについて」を配付し、利用ルールについて確認しています。
- ・学級活動や道徳科の時間を活用し、情報モラルについて子ども自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・外部講師や社会教育課指導主事などの専門家を呼び、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を設けています。今年度は青少年育成連絡会において、上野小中合同で、児童・生徒・保護者を対象とした授業を計画しています。

#### ○不審者への対応

- ・「子ども安全の日」に、不審者対応について子どもたちと確認しています。また、教職員が校舎内外などを防犯の視点で安全点検し、危険箇所は改善しています。
- ・具体的な場面を想定した不審者対応訓練を実施しています。子どもが自分事として捉える機会としています。
- ・保護者や地域の方の協力を得て、こどもの登下校中の見守りを行っています。
- ・市内の不審者出没の連絡を受けたら、一斉メールで、家庭への注意喚起を行っています。

#### ④ 富士宮市立柚野小学校

##### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・「端末使用のルール」を作成し、子どもと確認するとともに、保護者にも配布しています。
- ・市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を、学校全体のクラスルームで全校児童や教職員と共有し、タブレットを持ち帰った際には、保護者も確認できるようにしています。
- ・新1年生には、端末利用開始の時、ルールを確認して保護者からも承諾書をもっています。
- ・学級活動の時間等を使って、情報モラルについて子どもたち自身が考える時間を設け、安全な使い方ができるようにしました。

#### ○不審者への対応

- ・警察（駐在所）と連携し、具体的な場面を想定した不審者対応訓練を実施しました。今回は、不審者役に駐在所警察官が扮し、より臨場感を持った訓練が行われました。
- ・防犯教室では、各学年の代表児童が様々な場面を想定してロールプレイングを行っているが、見ている児童もどんな場面か示し、「自分ならどうするか」考え、発表する機会を設けるようにしています。
- ・集団下校時に生徒指導主任が「いかのおすし」の合言葉や、「かけこみ110番」の家の確認をしています。
- ・地域の方の協力を得て、「見守りボランティア」として登下校の見守りを行っています。

#### ⑤ 富士宮市立富士宮第四中学校

##### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・市教育委員会発行の「新しい学びに向けた1人1台パソコンの利用について」を保護者に配付し、クロームブックの使用について共有しています。
- ・「端末使用のルール」を作成し、こどもと確認するとともに保護者にも配布しています。また、市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を使ってこどもと確認しています。
- ・学級活動や道徳、技術科の時間を活用し、情報モラルについてこども自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・外部講師を呼び、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設けています。

##### ○不審者への対応

- ・「子ども安全の日」に、不審者対応についてこどもたちと確認しています。また、教職員が校舎内外、通学路などを防犯の視点で安全点検し、危険箇所は改善しています。
- ・警察や防犯協会等と連携し、具体的な場面を想定した不審者対応訓練を実施しています。こどもが自分事として捉える機会としています。
- ・学校だより等で、不審者対応について知らせ、家庭への啓発を行っています。

#### ⑥ 富士宮市立上野中学校

##### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・「端末使用のルール」を作成し、こどもと確認するとともに紙媒体を配布し、パソコンを入れるバックの中に入れるように指導しました。また、市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を使ってこどもと確認しています。
- ・保護者会や個人面談の際に、利用ルールについて確認しています。
- ・学級活動や道徳科の時間を活用し、情報モラルについてこども自身が考える機会を設け、意識の向上を図っています。
- ・情報モラルの啓発のため、メールや学校だより、PTA広報誌等を利用し、親子で情報モラルについて考える時間を持つようお願いをしています。
- ・外部講師や社会教育課指導主事などの専門家呼び、SNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分事として捉える機会を定期的に設ける予定です。

##### ○不審者への対応

- ・全員が明るい時間帯に帰宅できるように、昨年度よりも部活動終了時刻を早くしました。
- ・不審者や野生動物出現の情報があれば、集団下校、職員の見回りの対応を取っています。
- ・「子ども安全の日」に、不審者対応についてこどもたちと確認しています。また、日常的に教職員が校舎内外、通学路などを防犯の視点で安全点検しています。
- ・避難訓練の際に、具体的な場面を想定した不審者対応について話をしています。
- ・保護者や地域の方の協力を得て、こどもの登下校中の見守りを行っています。
- ・学校だより等で、不審者対応について知らせ、家庭への啓発を行っています。

#### ⑦ 富士宮市立柚野中学校

##### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

- ・「新しい学びに向けた1人1台端末の利用について」を用いて、生徒と確認するとともに保護者にも配布しています。
- ・外部講師を招き、専門家から「情報モラル講座」を開きSNSに潜む危険性について具体例を挙げて説明していただき、自分ごととして捉える機会を定期的に設けています。

##### ○不審者への対応

- ・不審者侵入防止の三段階チェック（A校門、B校門～校舎入り口、C校舎入り口）を行っています。
- ・特に、外部から校舎への侵入口を、正面玄関の一箇所限定して他は全て施錠しています。校舎内においても、人がいない教室は全て施錠しています。休み時間等も生徒のみになる階がないように、毎時間教師を見守りとして配置しています。

(3) 未処理事項の処理予定  
なし

### 3 予算の執行状況(令和5年9月8日現在)

#### (1) 歳出(小学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
46,273,000	16,795,698	29,477,302	36.3

#### (2) 歳出(中学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
30,193,000	9,934,685	20,258,315	32.9

### 4 児童・生徒の状況

#### (1) 小学校21校 児童数(令和5年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通学級	955	966	959	1,043	1,102	1,083	6,108
特別支援学級	23	23	20	31	39	29	165
計	978	989	979	1,074	1,141	1,112	6,273

#### (2) 中学校13校 生徒数(令和5年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1 年	2 年	3 年	計
普通学級	1,075	1,132	1,108	3,315
特別支援学級	26	26	24	76
計	1,101	1,158	1,132	3,391

### 5 要望事項等

日頃より1人1台パソコンの利用ルールについて、児童、生徒に情報モラルを考える機会を設け意識の向上を図っています。子どもたちにとってSNSからの情報が与える影響は大きく、危険性があることも理解してもらうため、家庭に対しても、使用方法への注意喚起を行うとともに、ルールを守りながら使用することがパソコンの有効活用につながることを目的に、引き続き学校と家庭が連携してこどもの様子を見守るよう要望します。

また、子どもたちの登下校の安全を確保する手段の一つとして、地域における防犯カメラの設置状況の把握を心がけることも要望します。

\*定期監査では小学校4校(貴船・富丘・上野・柚野)、中学校3校(第四・上野・柚野)の7校において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

# ◇ 市 議 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和5年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	
事 務 次 長	1		1	
庶 務 調 査 係	3		3	
議 事 係	3		3	
計	8	0	8	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

タブレット端末の導入から3年が経過し、ビデオ会議の実施など様々な場面で円滑に活用されています。先進的にIT活用している他自治体等より情報収集を行い、今後も活用の幅が広がるよう要望します。

### (2) 処理済の事項

採決を伴う会議等でのIT機器の活用については、議会運営委員会で協議し、条例等を改正しました。

### (3) 未処理事項の処理予定

オンラインによる一般質問について、議会運営委員会で協議される予定です。

## 3 予算の執行状況(令和5年8月8日現在)

### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
340,010,000	115,209,147	224,800,853	33.9

## 4 要望事項等

他都市議員等の視察受入れを積極的に行い、情報共有や意見交換を行っています。また、新たな取組として小学生を対象にした議場の見学や、議会だよりに対する高校生との意見交換等も行っています。若年世代に向けて、身近なところから政治に関心を持っていただけるよう、今後も新たな取組を検討し、実施できるよう努められたい。

## ◇ 選挙管理委員会事務局

### 1 職員の配置状況(令和5年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	行政課長が併任
次 長	1		1	行政課選挙係長を併任
選 挙 係	2		2	行政課選挙係 主任主査を併任1 主査を併任1
計	4	0	4	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

せんきょ出前講座は、身近な情報や具体的な事例を挙げることで、児童生徒が選挙制度に理解と関心を持ち、将来有権者となったときの投票率向上につなげるため、より多くの学校で講座が開催されるよう教育委員会及び学校に対し積極的な周知を行うことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

市内の小中学校宛てに、出前講座の主管課である社会教育課からの案内に加えて、令和4年12月に選挙管理委員会事務局からも通知を送付して「せんきょ出前講座」の活用を促しました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和5年8月8日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
32,018,000	3,154,562	3,154,562	0	9.9	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
131,020,000	65,551,205	65,468,795	50.0

## 4 選挙の執行状況(令和5年8月8日現在)

(単位:%)

選挙名	選挙期日	投票率	備考
静岡県富士宮市県議会議員選挙	令和5年4月9日	無投票	令和5年3月31日告示
富士宮市議会議員選挙	令和5年4月23日	45.80	令和5年4月16日告示
富士宮市長選挙	令和5年4月23日	45.80	令和5年4月16日告示

## 5 要望事項等

人口減少や高齢化社会の中、投票率を確保するのは難しいと思います。特に若年層の投票率が低いことから、将来選挙権を持つことになる小中学生や高校生に向けて、「せんきょ出前講座」等を大いに活用して選挙への関心が高まるよう取り組まれない。

また、現在の直接投票所で投票を行う仕組みの中で、高齢者や社会的弱者が投票所までの利便性を確保できる方策についても検討し投票率の向上へつなげるよう要望します。



# ◇ 農 業 委 員 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和5年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
局 長	1		1	農業政策課長が併任
次 長	1		1	
振 興 係	3	1	4	
計	5	1	6	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

遊休農地が相当程度存在する区域における農地の取得要件の緩和は、就農希望者の農地取得につながるなど実績が出ています。新規就農の促進や遊休農地の解消にも役立つことから、引き続き制度の周知を行い、新規就農者への紹介が進むよう制度の活用を要望します。

### (2) 処理済の事項

令和5年4月から農地法の改正により農地を取得する際の面積要件が撤廃されましたが、これまでの当市独自の農地の取得要件の緩和制度により、法人を含む14名の方が就農し、想定を上回る利用者数となりました。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

## 3 予算の執行状況(令和5年8月8日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,817,000	731,750	731,750	0	7.5	100.0

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
41,296,000	16,676,611	24,619,389	40.4

## 4 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積状況(令和5年8月1日現在)

(単位:人・㎡)

利用集積事業	受け手	渡し手	農用地の面積			
			田	畑	その他	計
利用権設定 (貸借)	29 ( 36 )	35 ( 53 )	46,485.91 ( 33,010.00 )	53,713.55 ( 68,227.61 )	0.00 ( 0.00 )	100,199.46 ( 101,237.61 )
所有権移転 (売買等)	2 ( 4 )	2 ( 4 )	1,290.00 ( 0.00 )	12,771.00 ( 218,912.00 )	0.00 ( 0.00 )	14,061.00 ( 218,912.00 )
計	31 ( 40 )	37 ( 57 )	47,775.91 ( 33,010.00 )	66,484.55 ( 287,139.61 )	0.00 ( 0.00 )	114,260.46 ( 320,149.61 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 5 農地法による許可等の状況(令和5年8月1日現在)

(単位:件・㎡)

名 称		件 数	面 積
第3条(農地の所有権等の移動及び権利の設定)		28 ( 24 )	52,448.97 ( 30,413.11 )
第3条第3項 (相続等によって農地を取得した届出)		15 ( 14 )	64,195.24 ( 43,258.77 )
第4条(所有農地の転用)	市街化区域	12 ( 11 )	4,355.83 ( 8,056.00 )
	市街化調整区域	4 ( 4 )	2,615.00 ( 2,799.17 )
第5条(所有権等の権利移動及び 権利の設定に伴う農地の転用)	市街化区域	42 ( 58 )	25,625.46 ( 38,584.03 )
	市街化調整区域	21 ( 12 )	14,484.67 ( 12,851.00 )
第18条(賃貸借の解約)		3 ( 2 )	3,673.00 ( 6,158.00 )
非農地証明(農地以外の用途で10年を経過)		8 ( 16 )	11,532.00 ( 9,426.00 )
事業計画変更申請及び届出		2 ( 1 )	16,114.00 ( 1,094.00 )
諸 証 明	転用事実確認証明	3 ( 0 )	10,843.00 ( 0.00 )
	耕作証明	1 ( 6 )	/
	許可済証明・提出中の証明	26 ( 31 )	

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 6 要望事項等

農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加する中で、形状等が要因となって農地が利活用しにくいことなどが喫緊の課題となっています。所有者の同意を得ながら、作業効率の良い環境づくりに向けて、農協や県などと就農希望者のマーケティング情報を共有化し、農地の流動化に繋げ、前に進むような形で働きかけやきっかけ作りを行っていくよう要望します。

